



# タクシー無線

2023

No. 62

業務用IoT無線の現実に向けて



一般社団法人全国自動車無線連合会



# 目 次

◆全自無連第 63 回通常総会	
総会結集の喜びの中で活動方針等を確認	1
会長あいさつ（会長 高野公秀）	2
総会の開催結果（令和 5 年度第 2 回理事会報告含む）	3
功労者表彰	5
来賓祝辞	
総務省 総合通信基盤局 電波部 部長	豊嶋 基暢 様 6
国土交通省 自動車局 旅客課長	森 哲也 様 7
（代読） 統括課長補佐	手嶋 一了 様
（一社）全国ハイヤー・タクシー連合会 理事長	神谷 俊広 様 8
閉会のことば（副会長 坂本 榮二）	9
機器展示	10
令和 5 年 6 月期臨時正副会長会	10
総会懇親会	11
◆総務省 新任課長のご挨拶	
総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課長	小川 裕之 様 12
◆各協会の総会開催模様	13
東北、北海道、信越、関東、北陸	
東海、近畿、九州、中国、四国	
◆〈特集〉 業務用 IoT 無線の実現に向けて	
業務用 IoT 無線に関する調査研究	20
調査研究これまでの取組み	21
構築・運用が経済的な自営無線	22
研究成果を活かして地域 DX を推進	23
社会モデル実証の計画支援	23
◆全自無連のうごき	24
◆各無線協会のうごき	26
◆資 料	31
◆編集後記	41





# 全自無連第 63 回通常総会

## 総会結集の喜びの中で 活動方針等を確認



世界を脅かした新型コロナウイルス感染症が、第5類扱いとされる中、6月15日、全自無連第63回通常総会を開催しました。

3年余にわたる人の移動と対面を拒否してきたコロナ禍は、経済活動と生活を大きく変え、タクシー事業においては、需要と従業員が減り、廃業や事業縮小の中で、苦難の経営を強いられてきました。

その間、アプリ配車が全国に浸透し、電話受注と無線配車の減少によって、配車形態が大きく変わり、従業員不足も加わり、適

切な供給が確保できない状況がみられます。自営タクシー無線の縮小は会員の減少につながり、また、自営タクシー無線の供給停止の動きは、連合会と無線協会の活動と組織維持にも深くつながります。

コロナ明けとタクシー需要の回復に期待をかける中で、全自無連第63回通常総会が東京グリーンパレスで開催されました。総会は、再会を喜び合う機会になりましたが、組織の深刻さを共有する場ともなりました。今総会は、総務省、国土交通省の来賓を迎え、全国から30を超える事業者会員、8賛助会員、報道を含め総勢50名を超える総会に復帰しましたが、苦難の活動方針等を確認する総会となりました。

### 第 63 回通常総会議案

1. 令和4年度事業報告
2. 令和4年度決算監査報告
3. 令和5年度事業計画
4. 令和5年度収支予算
5. 役員の一部改選について
6. 次期総会開催地の決定



総会は、村澤総務委員長の司会で始まり、高野議長の議事進行により、すべての提出議案を満場一致決定しました。役員の一部改選後に令和5年度第2回理事会を開催し、新たに副会長2名が選定されました。

以下のおり全自無連第63回通常総会の開催状況を報告いたします。

### 全自無連会長 高野 公秀

皆様、全国各地からたくさんの方々がお運びいただき、ありがとうございます。このように対面でリアルに総会ができること、本当に心から嬉しく思っております。コロナも5類に変わり、懇親会も予定しておりますので、この総会への結集力を堪能していただきたいと思います。

まず情勢ですが、一番大きかったのは、運賃の改定です。東京を皮切りに、今まで苦しんできたこの業界がやっと復活できる、一つ大きな足掛かりになると思っております。

今、一番心配なのは人不足です。世界の人口が80億人を超え、高齢化が急速に進み、労働人口が減り2050年ぐらいまでは労働力不足が続くということです。少子化対策も功を奏するのは25年くらい後になり、それまでの間、我々は必死になって産業を支えなければなりません。労働者は定年延長により高齢者にも頑張ってください、女性の職場進出を支え、労働人口に加えていかないと持ちません。

その他、我々の業界で言えば、二種免許が19歳から取れ、若い時代から乗れるようにする。定時間制を見直し、労働形態を変えて、朝出社してから8時間拘束して残業2時間という考えを改め、好きな時に働いて好きな時にお休みする、その中に子育てや介護の時間も含めますよ、というワークシフト制の活用が重要になります。

また、外国人労働者を入れるとなれば、習慣や風習の違い、言語や地理の問題などがありますが、いろいろな風習があっても我々の産業が生きて



いくには、外国人労働者を的確に受け入れ、進めていただいています。また、若い人でも、あまり熟練度がなくても、実質的な高月収とすることも労働力確保には必要なことです。そうすると、タクシーというのはキツイばかりではなくて十分得られるぞと。産業間で労働力の取り合いが起きても、今度は逆に、雇用環境の良いタクシー業界に行こうという流れができれば、政策と相まってやっていけるのではないかと考えています。

そうして得られる労働環境の改善やタクシーサービスの向上に、より効果的な仕事を挙げていくときに必要なのが、無線であり、ICTであるということを考えるわけです。

日本は広く、いろいろな事情や地域がある中で、どのようなタクシーサービスを提供していくか、それには非常に重要なツールが無線なのだ、ということを考えていただいて、ICTの利用を促進していきたいと私は考えております。

本日は、そういった意味で、全国のみなさんが結集した、貴重な対面でできる総会ですので、ぜひ忌憚のない意見を話していただきたいと思います。

これから先、いろいろなタクシーサービス、それから利用者の方も増えていきますが、無線をはじめ、ICTのツールをどうやって使いこなしていくか、これが活動の基本になると思います。

都市・地方を問わず、いろいろな問題がありますが、知恵を出しながら、越えていきたいと考えています。本日の総会が意義あるように是非お願い申し上げまして、私からのご挨拶といたします。

**注釈：高野会長は、無線とアプリ等のICT活用について具体的に話されましたが、紙面の都合で割愛させていただきます。**

## 総会の開催結果（進行状況）

### （開会）

6月15日14:00、通常総会の開始に当たって、村澤儀雄総務委員長が「全自無連第63回通常総会」の開会を宣言し、高野公秀会長が演台に立ち会長挨拶が行われました。（会長挨拶要旨は2頁に掲載）



続いて事務局より、「正会員10団体のうち10団体が出席、定款第17条の規定を満たしており、本総会が成立している。」ことが報告され、議事に入りました。

### （議長の選出）

村澤総務委員長が、「総会の議長は、定款第16条の規定により会長が当たることとなっている。」旨を述べ、高野会長が総会議長に就任し、早速、議事録署名人の選任について諮ったところ、議長一任の発言があり、定款21条に基づき、議長（高野会長）のほか次の2名を指名し、選任しました。 議事録署名人：石川康夫（東北）稲葉伸一郎（九州）

### （議事：事業決算報告および事業計画収支予算）

次に総会次第に基づき、議事に入り、議長の指示により、第1号議案「令和4年度事業報告に関する件」と、第2号議案「令和4年度決算報告及び監査報告に関する件」を事務局より一括して説明し、引き続き一ノ瀬監事から「令和4年度の業務及び予算の執行は、監査報告書に記載のとおり、いずれも適正に執行されていた。」旨の監査報告がなされ、審議に入りました。

場内から「異議なし」の声があり、賛否を諮った結果、満場異議なく、両議案は原案どおり決定されました。

続いて第3号議案「令和5年度事業計画に関する件」と、第4号議案「令和5年度収支予算に関する件」を事務局より一括説明して審議に入り、議長が質問、意見を求めたところ、中国協会から「予算等が減っているが、今後、中国5県では赤字で会費が出せなくなる。全自無連も大変だが、このままでは中国協会の運営が非常に難しい。全国的に同じような傾向にあるのではないか。」との旨の発言がなされました。これに対し、事務局から「地方協会も全自無連と同じような状況にある。見直しや対策を検討していきたい。」と答え、議長（会長）から「正副会長会でも検討しており、あまり遠くない時期に相談したい。」と補足されました。

その後、賛否を諮った結果、満場異議なく、両議案は原案どおり決定されました。

### 全自無連第63回通常総会次第

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 総会成立報告
4. 議長選出
5. 議事署名人選任
6. 議 事
  - (1)4年度事業報告
  - (2)4年度決算報告及び監査報告
  - (3)5年度事業計画
  - (4)5年度収支予算
  - (5)役員の一部改選
  - (6)次期総会開催地の決定  
(議事終了)
7. 功労者表彰
8. 来賓祝辞
9. 閉 会

(役員の一部改選)

次に、第5号議案「役員の一部改選に関する件」について事務局より提案説明があり、理事の一部改選の提案に対し異議なしと発言があり、議長が賛否を諮った結果、全員異議なく原案(第5号議案名簿)どおり選任されました。

新任役員(理事)	退任役員(理事)
〔関東〕大塚一基(大和自動車交通株)	〔関東〕前島忻治
〔信越〕馬場大和(十日町タクシー株)	〔信越〕金井正志
〔近畿〕兼元秀和(株キャビック)、 池田英憲(生駒交通株)	〔近畿〕池田誠也、川本恵三 〔九州〕漢 二美

(次期通常総会開催地の決定)

議長の指示により、第6号議案について、議案書に基づく説明が事務局から行われ、議長から提案どおり東京としてよいか諮った結果、満場異議なく承認されました。

(議事の終了)議長が議事の終了を告げました。



## 〔令和5年度第2回理事会報告〕

交代となる副会長の選定を行うため、総会を一旦休止し、その場で、令和5年度第2回理事会を開催し諮った結果、理事の中から次の2名が選定されました。

副会長 松葉和彦(信越)、副会長 坂本榮二(近畿)

## 〔総会の再開〕

理事会終了後に休憩を取り、来賓を迎えて総会を再開しました。

(功労者表彰:5頁に掲載)

功労者(表彰状7名、感謝状4名)を発表し、出席した4名に賞状が授与されました。

(来賓祝辞)次の3名の方から祝辞をいただきました。

総務省 総合通信基盤局 電波部長	豊嶋 基暢 様
国土交通省 自動車局 旅客課長	森 哲也 様
(代読 総括課長補佐	手嶋 一了 様)
一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会 理事長	神谷 俊広 様

(閉会)

新任された坂本榮二副会長(近畿)から閉会のことばが述べられ(9頁に掲載)、その後、村澤総務委員長から第63回通常総会を終了する旨の発言があり、総会を終了しました。



## 功勞者表彰

タクシー無線の健全な発展と組織の育成に尽力された功勞者に表彰状、感謝状の贈呈が読み上げられ、出席者には賞状が授与されました。

功勞者には6月26日に賞状と記念品を送付しました。



### 表 彰 状

(北海道)	かしわば 柏葉	けんいち 健一	様	あさひかわちゅうおうこうつう 旭川中央交通株式会社	代表取締役社長
(北 陸)	や さき 矢崎	たかあき 孝明	様	けいこんこうつう ケイカン交通株式会社	代表取締役社長
(近 畿)	よしかわ 吉川	のりおき 紀興	様	せいしんこうつう 西神交通株式会社	代表取締役社長
(近 畿)	こ ち 古知	あいいちろう 愛一郎	様	ほっこううめだ 北港梅田ハイタク事業協同組合	代表理事
(近 畿)	のぶはら 信原	ともひこ 智彦	様	あらい 荒井タクシー有限会社	代表取締役
(九 州)	ほり 堀	かんじ 貫治	様	たいようこうつう 太陽交通株式会社	代表取締役社長
(九 州) 令和4年秋 旭日双光章	いなば 稲葉	しんいちろう 伸一郎	様	くまもとえきこうない 株式会社熊本駅構内タクシー	代表取締役社長

### 感 謝 状

(関 東)	まえじま 前島	きんや 忻治	様	だいわじどうしゃこうつう 大和自動車交通株式会社
(信 越)	かない 金井	まさし 正志	様	だいいち 第一タクシー株式会社
(近 畿)	いけだ 池田	せいや 誠也	様	いこまこうつう 生駒交通株式会社
(近 畿)	かわもと 川本	けいぞう 恵三	様	きょうと 京都タクシー株式会社



## 来賓祝辞

総務省 総合通信基盤局 電波部

部長 豊嶋 基暢 様



本日はお招きいただき、誠にありがとうございます。御列席の皆様におかれましては、日頃より情報通信行政について格別の御理解と御協力を賜り、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

先ほどは、多年にわたりタクシー無線の発展に寄与された功労者として表彰された皆様、誠にありがとうございます。これまでの多大な功労に対し、改めてお礼申し上げます。

タクシー無線は、昭和 28 年に我が国で導入されて以来、今年で 70 年を迎える歴史ある無線システムです。皆様の御努力やデジタル技術など無線通信技術の向上もあって、現在では、全国で高品質のタクシー無線を御利用いただけるようになり、地域交通の効率化や利用者の方にとって便利で快適なサービスの向上が、実現されております。また、災害対策や高齢者等の移動支援などの社会貢献にも積極的に取り組んで来ていただきました。

この 3 年あまり、新型コロナウイルス感染症の影響で、タクシー事業者の皆様におかれましては、感染防止対策に多大なご努力の下、取り組みをされながら、日常の必要不可欠な移動手段としての提供を続けていただいたと受け止めております。これまでの関係者の皆様の御尽力に改めて深い敬意と感謝を申し上げます。

インバウンド需要が戻りつつあるなど、回復基調で明るい兆しもみられるようになってきましたが、一日も早く平常の業務に戻ることができますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年度は、全国自動車無線連合会に御協力をいただき、地域 DX 化の実現に向けた地域自営

業務用 IoT 無線システムの実現に向けて、中部地域において調査検討を実施し、LPWA (Low Power Wide Area) 技術の一部を活用した、車載系 IoT 移動通信アプリケーション等について、将来の社会実装に向けた検討を行いました。総務省としましては、この取り組みを通じて得られた多くの知見も活用しながら、地域社会の DX 化を支援していきたいと考えております。

また、総務省では、人やモノの安全で快適な移動の実現に向けて、情報通信技術を用いながら、人や道路、車などをつなぐ高度道路交通システム、いわゆる ITS の普及を推進しております。本年 2 月より総務省では「自動運転時代の“次世代の ITS 通信”研究会」を開催し、自動運転時代の次世代の ITS 通信の利用イメージ、それを支える通信の在り方などについて、この夏に中間取りまとめをするべく検討を進めております。

クルマを取り巻く世界のいろいろな技術革新があるかと思いますが、タクシー無線につきましても、この 70 年の長い歴史の中で着実に進化を遂げ、通信サービスだけでなく、自動車のサービスそのものや、あるいは地域の利用者にとって更なる充実したものが提供できるよう、総務省としても協力支援していきたいと思っておりますので、引き続き皆様方からのご協力と、ご提案を承りながら前進していきたいと思っております。

最後になりましたが、タクシー事業の一層の発展を願いながら、全国自動車無線連合会及び本日御列席の皆様の益々の御発展と御活躍を祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

**国土交通省 自動車局 旅客課**  
**課長 森 哲也 様**

(代読) 統括課長補佐 手嶋 一了 様



本日、一般社団法人全国自動車無線連合会の第 63 回通常総会が開催されましたこと、心よりお祝い申し上げます。また、お招きいただき、ありがとうございます。

タクシーサービスは、地域の重要な公共交通機関の一つとして、国民の移動手段としてドア・ツー・ドアサービスを提供していただき、誰もが安全・安心で便利に使えるタクシーサービスを目指して、ご尽力いただいていることに対し、深く敬意と感謝を表したいと考えています。

特に、タクシー無線は、効率的なタクシー配車の実現に寄与するのみならず、災害等の非常時における人命救助、災害情報の伝達等にも効率的なツールであると考えており、連合会の皆様におかれましては引き続き、タクシー無線を有効に活用し、機動性や柔軟性といったタクシーの特性を十分に活かしつつ、利用者の利便性向上に資するタクシーサービスの提供に一層ご尽力いただければと考えております。



輸送需要が右肩上がり傾向になってきましたが、コロナ禍の 3 年間の間にタクシーの運転手が 5 万人ほど減少したこともあり、運転者の確保が喫緊の課題であると認識しております。また、タクシー運転者を増やしていくためには、運賃改定による賃金水準の引き上げや働きやすい職場環境の整備が非常に重要だと考えております。

既に全国 101 の運賃ブロックの内、91 の運賃ブロックで改定の申請が出されているところであり、現在、半分の 46 ブロックで新たな運賃の公示が行われ、45 ブロックで審査中となっております。これまでも迅速な運賃改定に国土交通省一丸となって努めてきたところですが、引き続きスピード感のある改定を進めてまいります。

また、これまで効率的な運行管理システム・配車システムの導入などの交通 DX による利便性・生産性向上により経営効率化・経営力強化を図る取り組みにかかる支援を行っているほか、タクシー事業の人材確保のための広報費用や二種免許取得に要する費用に対する支援も行うこととしておりますので、有効にご活用いただければと存じます。

最後になりましたが、全国自動車無線連合会並びに傘下会員の皆様のご発展と、本日も列席の皆様のご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



**一般社団法人**  
**全国ハイヤー・タクシー連合会**  
**理事長 神谷 俊広 様**

全自無連第 63 回通常総会開催おめでとうございます。私は、今日に至るまでのタクシー事業の発展、進化はタクシー無線の存在が無ければできなかったと思っております。また、タクシー事業だけでなく、災害時、タクシー無線に絶大なる貢献を頂けることについては、12 年前の 3 月 11 日に発生した東日本大震災の際に、日本中の人々が改めて認識されたということでございます。

そうしたことを経て今日の DX の大きな潮流の中にあり、アプリ配車が注目されていますが、何よりもタクシー無線のデジタル化はタクシー事業における DX のまさに先駆けだと思っております。また、令和 2 年春からコロナ禍の影響、そして、3 年秋からは異常な燃料価格高騰があり、それに加えて 3 年に及んだコロナ禍で人手不足、ドライバー不足が加速しました。今やタクシー業界、大変危険な未曾有の経営危機にあるといっても過言ではありません。

雇用調整助成金制度の特例を創設してもらい、コロナ感染症対応の地方創成臨時交付金も各自治体に対し、要請に行っていたところです。加えて国交省独自のコロナ感染症対策の予算や燃料価格高騰の対策予算も講じていただきました。我々が要望したコロナ中小特例という道路運送法上の措置も認めていただき、全国の事業者がフルに活用して、ドライバーと経営者が一体となって地域を支える公共交通機関として踏ん張ってきたところです。コロナ禍が収束しつつある中で、インバウンド需要が増えてきました。全国の都市部、地方問わず、車両はあるが、ドライバーがいない、稼働率が上がらない、そして利用者からのクレームが殺到しているという状況が発生しています。

コロナ禍の 3 年間で 5 万人のドライバーが減る状況の中で、国交省に二種免許の取得にかかる教習所の費用を支援してもらえないかと要求しましたら、4 年度 2 次補正予算で対応していただきました。これはバスとセットですが、まだまだ足りないということで、5 年度の補正でも国交省にお願いしております。

人材不足対応は、二種免許の取得試験だけでなく、人そのものをリクルートしなければならないということで、人材確保セミナーや人材確保の PR 活動に補助金を出すと国交省が言ってくれまして、6 月から全国で、その作業をスタートさせております。

もう一つは、外国人の在留資格特定技能 1 号、もちろん一定の日本語能力があることと、その分野における技能をしっかりと持っていることが条件となり、自動車整備や建設業、造船業は既に特定技能 1 号の対象となっていますが、自動車運送業は対象になっていません。トラック・バス業界とも協議し、三位一体で入れてもらい、国交省を通じて法務省、警察庁等々とも交渉し、バス、タクシーの場合は、二種免許の問題もありますので、そこをどうクリアするかということが大きな課題となっています。

また、コロナの収束に時を同じくするように、ライドシェア解禁の動きが出てきました。タクシーがなかなか捕まらないじゃないかという点を鋭く突いてきており、油断できず、なんとかしないといけないという思いをもっています。ただ、利用者の安全安心の確保に全く関心がない人たちとは、断固我々は戦わなければならないと考えています。

最後に高野会長率いる全自無連の今後ますますのご発展を心より祈念しまして、挨拶と報告とさせていただきます。ありがとうございました。





## 閉会のことば

副会長 坂本 榮二

ただいまご紹介をいただきました、近畿自動車無線協会の坂本でございます。全自無連の池田副会長から、先だつての近畿の総会でお前がやれと言われて、会長という形になりました。そして、先ほどの理事会で、全自無連の副会長という形で携わることになりました。一つこれからよろしく願い申し上げます。

また、本日は、ご来賓の皆様、ありがとうございます。先ほど表彰されました4人の方々には、改めておめでとうございます、とお伝え申し上げます。

さて、我々の業界、とにかく今まで経験したことのない、非常に辛辣な状況で、なんとか非日常から、日常の生活に戻ってきました。先ほどから国交省様や神谷理事長から話がありましたけれど、その間、我々に対して、国の方からいろいろな異例の支援をいただいて、なんとかここまで我々の事業を継続して来られたなということで、非常に国に対する感謝を申し上げておきたいと思ひます。

先ほどから出ています運賃改定が、全国で101ブロックある中、90ブロックぐらいが申請していて、大体60ブロックぐらいが実施もしくは実施予定ということでございます。大阪も運賃改定させていただいて、おかげさまでその効果が出ております。常に新しい景色を見ないといかん、ということで、現場のドライバーの方々も一生懸命頑張っていたらいいな、と思っております。そんな中で、喫緊の一番の課題はドライバー不足、供給力不足で市民の需要に答えきれないところが最大の問題で、人材の獲得に取り組むのが第一です。それと、設備投資をしながら、利用者主体の向上、これは無線にも

つながりますが、投資をした成果を出していかなければなりません。

そして、そういうことが、結果的には明るい職場になり、人がどんどん来てくれるような我々のタクシー事業として、持続可能な体制を作り上げていかなければならないと思ひますので、皆様方としっかり頑張っていきたいと思ひます。

タクシー無線、昨今はいろいろな形でアプリが加わり、特に都会の東京や大阪などでは確かにアプリが主流となりました。地方はまだそこまで行っていないところもあると思ひますし、私の会社でも、アプリと自社無線が半々ぐらいですが、基本的に、やはり無線は大事にしないとあかん、ということで、常に社内では言っております。

公共交通機関の一員として、やはりタクシー無線を活用しながら、地域の防災防犯の一助を担うことによって、タクシーがあって良かった、という市民からの応援を頂く存在感を出していくことが大事だと思ひます。そのことによって、先ほどから出ているライドシェアに対して「タクシーここにあり」とライドシェアが入る余地を与えないようにするためにも、もっともっとしっかり無線を活用しながら地域の足として、頑張っていくことを皆さん方と誓い合いながら、私の閉会の挨拶に代えさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。



## 機器展示

総会会場前通路にて、賛助会員5社による機器展示・パネル展示が、小規模ながら久しぶりに行われました。



5社による展示



〔出展社〕 株式会社システムオリジン、新潟通信機株式会社、株式会社デンソーテン、トム通信工業株式会社、G O株式会社

## 令和5年6月期臨時正副会長会

第63回通常総会の開催前、正午から総会会場にて、臨時正副会長会が開かれました。

正副会長会では、総会、理事会等の開催について、役員の一部改選、被表彰者の選考などの総会議題等を確認したほか、短時間でありましたが、今後の組織運営についての意見交換がなされ、今後、スケジュールを示しながら検討を進めることも確認しました。



## 総会懇親会

コロナ明けの状況に気を払いながら総会懇親会をやっと開くことができました。  
高野会長の再会の喜びの挨拶の後、川野常任顧問の挨拶・乾杯で始まり、久しぶりに和やかな懇談が続きました。



総会懇親会では、総会以上に登壇(発言)者も多く、  
総会結集の喜びが多く出されました。





# 総務省 新任課長のご挨拶



総務省 総合通信基盤局 電波部  
移動通信課長 小川 裕之 様

一般社団法人全国自動車無線連合会の会員の皆様におかれましては、日頃より情報通信行政について格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

タクシー無線は、昭和 28 年に我が国で導入されて以来、今年で 70 年を迎える歴史ある無線システムです。皆様の御努力やデジタル技術など無線技術の向上もあって、現在では、全国で高品質のタクシー無線を御利用いただけるようになり、地域交通の効率化や利用者の方にとって便利で快適なサービスの向上が、実現されております。

この 3 年あまり、新型コロナウイルス感染症の影響の中、タクシー事業者の皆様におかれましては、感染防止対策に取り組みつつ、日常生活に必要な移動手段の確保に取り組まれてこられました。これまでの関係者の皆様の御尽力に改めて深い敬意と感謝を申し上げます。

昨年度は、全国自動車無線連合会に御協力をいただき、地域 DX 化の実現に向けた地域自営業用 IoT 無線システムの実現に向けて、調査検討を実施いたしました。調査検討では、LPWA (Low Power Wide Area) 技術の一部を活用し、車載系 IoT 移動通信アプリケーション等について、将来の社会実装に向けた検討を行いました。総務省と

しましては、この取り組みを通じて得られた知見等も活用しながら、地域社会の DX 化を支援していきたいと考えております。

また、総務省では、人やモノの安全で快適な移動の実現に向けて、情報通信技術を用いて人や道路、車などをつなぐ高度道路交通システム、ITS の普及を推進しております。本年 2 月より「自動運転時代の“次世代の ITS 通信”研究会」を開催し、自動運転時代の次世代の ITS 通信の利用イメージ、それを支える通信の在り方などについて、中間とりまとめを行いました。今後は、とりまとめを踏まえ、関係省庁などと連携しながら、実証プロジェクトの実施など具体的な取組を進めて参ります。

最後になりましたが、全国自動車無線連合会及び会員の皆様の益々の御発展と御活躍を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

小川様は 7 月 7 日付で  
電波部移動通信課長に就任されました。

# 各協会の総会開催模様

## 東北協会

## 無線の活用が重要な要素に

東北協会の令和5年度通常総会は、6月14日に岩手県盛岡市のホテルにおいて100名規模でもって開催しました。総会後は4年ぶりに懇親会も併催した従来どおりの形式で開催でき、また関係企業4社のご協力を得て、会場前ロビーでタクシー関係機器展示も実施しました。



石川康夫会長の開会挨拶では、ライドシェアの動きがインバウンド復活を口実として動き出していることは大いに警戒すべきである、乗車需要が戻りタクシーサービス向上が求められ、タクシー無線の高度な活用に向けて会員サポートが協会の存在意義となる、無線関係では更新対応が課題であり退会対策が極めて重要である、と述べられました。

総会来賓として、総務省東北総合通信局、国土交通省東北運輸局及び岩手運輸支局、岩手県警察本部からご出席をいただき、3名の皆様からご祝辞を頂戴しました。

功労者表彰では昨年度で退任された理事2名、無線局管理が優秀な会員22社及び防災防犯に功績あった会員1社・乗務員1名に対して表彰がありました。令和6年度の総会開催県は、これまでの開催順を踏まえて「福島県」とすることが決定しました。

### レポート 「集中基地局の利用状況」

東北地域におけるタクシー無線集中基地局は、仙台地区の会員が53年前に開設した「仙台移動無線センター」が唯一です。市街地・周辺部でのビル高層化により不感エリアが散在するのが以前からの問題で、デジタル化に際してIP無線に移行するなどして、現在の利用者はかつての半数に減っています。各社は従来運営している配車システムに加えて配車アプリを併用していますが、仙台地区では東北地域でも突出してアプリ受注が近年急増しており、いずれも順調な利用状況にあります。今後の課題としては基地局無線機が高出力の仕様であるため、老朽化後の代替機の確保が困難なことから、自営無線での継続が見込めないことです。



同様の問題は、各協会から出されています。

写真：新潟集中基地局

## 北海道協会

# 全会員参加で開催

令和 5 年度通常総会は、5 月 23 日、札幌市内のホテルにおいて(一社)北海道ハイヤー協会と同一日程で開催されました。本年度は、新型コロナウイルスの感染症が一定程度の落ち着きを見せていることから、昨年度に引き続き全会員参加の総会形式で開催されました。

会長あいさつに続き、令和 4 年度事業報告、会計報告、令和 5 年度事業計画案、予算案、役員選任(理事 1 名)の審議が行われ、全議題とも全会一致で承認・決定されました。

## 信越協会

# 新役員体制を確立

## —第 64 回通常総会—



5 月 23 日、新型コロナウイルス感染症が第 5 類区分に分類見直しをされ、社会全体の動きがコロナ禍前に戻ってくるのか危惧される中、「新潟グランドホテル」において第 64 回通常総会が会員等総勢 34 名(委任状 96 名)出席により開催されました。総会冒頭、金井会長からはタクシー業界における人材不足の中、首都圏等の大都市では配車アプリの活用が活発で、地方都市においては専用無線等を介した音声配車が中心となっており、自営無線から全て配車アプリに切り替わる状況にはないが、今後の情報通信システムの動向を注視し、全自無連や各協会と連携して取り組んでいくとの挨拶がありました。



続いて、業務御多忙の中、来賓として御出席いただいた信越総合通信局 萩本無線通信部長には令和 5 年度重点施策の内容を絡めたご挨拶をいただきました。全自無連の岡崎専務理事からは、コロナ禍での外出・移動が制限される中で、アプリ配車が全国に浸透する一方、タクシー会社による運行管理を含めた配車業務から、車両がお客と直接マッチングする配車アプリ車両の導入が一部で進んでおり、組織的な運行指示から外れた業務形態となって来ると、地方はきめ細やかな配車が出来ない問題が浮かび上がっている状況を危惧する挨拶等がありました。

続く議案審議では、令和 4 年度事業報告及び収支決算報告、令和 5 年度事業計画案及び収支予算案の審議、承認に続き、次期役員の改選提案があり、重任理事・監事 15 名、新たに理事 7 名及び監事 1 名が承認されました。

別に開催した臨時理事会において、今期総会で 4 期 8 年に渡り会長(代表理事)を務められ勇退される金井正志氏の後任として、長野県選出副会長であった松葉タクシー(株)の松葉和彦氏を新会長に、十日町タクシー(株)の馬場大和氏を新潟県選出新副会長、菅平観光タクシー(株)の一之瀬治氏を長野県選出新副会長とする事が決定承認されました。

なお、当日はメーカーである新潟通信機(株)及び(株)システムオリジン 2 社によるタクシー配車アプリ関連システムの展示説明も実施されました。総会后、協会役員として長らく協会の事業推進に貢献された和泉徹理事、滝沢捷司理事、幸村玲子監事の 3 名に、新会長から感謝状等の贈呈がありました。

総会閉会后は、有志による懇親会も開催され、久方ぶりにマスクを外しての懇談となり、事業推進に係る情報交換が各テーブルで行われ、観光地が賑わうウィズコロナを願い、それぞれで 2 次会に繰り出しました。



# これからも無線活用を

関東協会



2023年度 関自無協第63回通常総会は、5月11日（木）15時から山梨県富士吉田市「ハイランドリゾート ホテル&スパ」で総勢69名の参加により開催され、すべての議案が承認・可決されました。

高野会長は、開催にあたり、「やっと感染症区分が5類になり、旧来のやり方で総会開催ができる運びとなりました。

インバウンドがコロナ禍前の7割近くまで回復し、東京の一年間の無線配車回数は3,298万回、コロナ禍前を1千万回上回り、これはスマホアプリ配車の

利便性が利用者ニーズに合致している証拠で、これからもAI・IoTを駆使した経営を続けなければいけない。しかしアプリのプラットフォーマーが主導権をとり、1強寡占化にはしてはいけない。

アプリ配車は、必要で便利だけど欠点としては、スマホの使えない方がいる。無線はオペレータのきめ細かな対応という利点もある。いろんな選択肢を提供し続けることが重要。無線システムは、アナログからデジタルへ、デジタルからIPへ、さらにIPからアプリへと大きく変わってきたが、基本は移動する車両には無線が欠かせないこと。

全国でのIP利用の割合は会員数で20%、車両数では35%と自営無線がまだまだ多く稼働、地方では音声通話配車で充分なところも多くあり、災害等非常時の有用性、維持費を考えた時、自営無線は本当に重要な手段です。本日は、忌憚のないご意見をいただき、懇親会を含めリアルに対面で情報交換し今総会を盛り上げてください。」と挨拶しました。

会員総数657中、出席会員数35、というすこし寂しい総会でしたが、事前配布した議案に賛成する議決権行使書377件を加え総会は成立し、第1・2号議案の昨年度の業務執行状況報告と決算報告及び監査報告に関する件は、拍手で承認され、第3・4号議案の今年度の業務執行計画と収支予算に関する件も、拍手で承認されました。

来年は、栃木県内で開催することが承認され、ご来賓に、関東総合通信局長の新井様をはじめ、関東運輸局、全タク連、東タク協、全自無連から9名をお迎えしたなかで、「タクシー無線の業務に永年勤務し成績優秀なるもの」14名に表彰状を授与しました。

続く懇親会は、コロナ禍前同様ビュッフェスタイルで開催しました。山梨県タクシー協会の雨宮会長の乾杯の発声で始まり、中締めは全自無連岡崎専務理事、

あいにくの天気で富士山はおぼろげにしか見えませんでした。コロナの感染症区分5類への引き下げもあり、参加者はマスクを取って笑顔で懇親を深め、コロナ禍で受けた打撃を一掃するようなパワーを感じました。



## 無線の意義を見出して



北陸協会の第59回通常総会は、去る6月8日（木）午後3時から金沢市内のホテルにおいて、総勢34名の出席により開催しました。

冒頭、土田会長から、「コロナ禍の3年間においては、会員数、無線局数とも減少傾向となったが、反面、会議等の活動自粛により経費節約となり、差し迫っていた、協会の今後を考える上で若干猶予ができたと認識している。タクシー環境も全国で運賃改定が進められているが、乗務員はコロナ禍前に比べ、2割から2割5分少なくなっており、需要に応えるためにはライドシェア導入

を主張する政党も見受けられる。

国交省関連で全タク連の動きを紹介すれば、6月1日に開催された正副会長会では、空白地帯を解消するための一方策として、期間を限定して、2種免許不要も話題となっていた。

一方、全自無連では、財政難から、今後の方向性について来る6月15日開催の総会等の席上において事務局案が提示され、正副会長会での審議により今年度結論を得ることとなっている。タクシーに無線は不可欠であり、唯一北陸三県の意見交換の場として、協会も一定の役割を果たしていることは事実であるが、会員にとって有益な存在意義が見出せるかが重要である。他協会からは存続を求める意見が挙げられていることもあり、本日の総会の場に限らず会員の方々からご意見をお聞かせいただきたい。」との挨拶がありました。

議案審議においては、令和4年度事業報告として、コロナ禍による活動制約の中、全自無連の取り組みである業務用IoT無線の開発に繋がる調査研究、IP無線共済の回線移行などの高度化支援に協力して取り組みました。

また、電波法手続きについては、賛助会員の協力を得て、総通局の指導を仰ぎながら約80件に及ぶ支援を行いました。このほか、会報誌、インターネットホームページを中心に、会員相互間の情報共有に取り組んできました。

令和5年度事業計画として、全自無連が中心となって推進する業務用IoT無線の地域展開に向け引き続き協力していくほか、電波法に係る手続き支援に着実に取り組むとともに、会員相互間の情報共有の促進に努めていくこと、を含む全ての議案が承認されました。また、本総会は、役員改選期であったことから新役員の選出後、理事会において、土田会長の再選が決定されました。



このほか、次年度総会開催地は、コロナ禍の収束を踏まえ、北陸新幹線敦賀開業も予定されている、「福井県内」で開催することになりました。

最後に、協会運営にご尽力された方々に対する表彰式、また、臨席いただいた、総務省北陸総合通信局、国土交通省北陸信越運輸局石川運輸支局から祝辞を頂戴し、無事終了しました。

終了後は、久しぶりに交流会も開催し、アフターコロナを見据えた今後の動向など、賛助会員も交え活発な意見交換が行われました。



# 第 41 回通常総会を開催 天野会長を再選

## ～通常に戻して懇親会を 4 年ぶりに開催し親交を深める～

東海協会

6月5日、東海自動車無線協会は名古屋駅前にある名鉄グランドホテルにおいて来賓、会員、賛助会員、総勢45名が出席し、第41回通常総会を開催しました。

総会では、すべての議案が承認・決定され、天野会長が再選されました。

5年度総会は、コロナ禍が終息に向かっていていることから、来賓を招へいし、懇親会も行うなど4年ぶりに通常に戻して開催されました。



挨拶される天野会長



東海自無協第41回通常総会

会長挨拶では、タクシーは厳しい情勢に置かれているが、タクシー業務を効率化するにはタクシー無線が極めて有効であることを皆さんも実感されていると思う。今はアプリが主流となっておりアプリを取り入れて仕事が増えたところもあるが、東海自無協の地域では東京ほどのシェアではない。

いずれにしてもタクシードライバーの生産性を改善するにはデジタル化、配車アプリをどこまで進めていけるかであると思う。

無線協会も会員、局数は減少し、全自無連も組織的に厳しい状況となっている。そのような中で迎える総会であり成功するよう皆さんの協力を要請すると述べられました。

来賓は、総務省から東海総合通信局局长 北林大昌様、無線通信部長 伊藤泰久様、陸上課長 水島孝様、国土交通省からは中部運輸局自動車交通部長 白木広治様、旅客第二課長 江口郁雄様をお招きし、代表として、北林東海総合通信局局长、白木自動車交通部長からそれぞれご祝辞を頂きました。

また、本総会では、組織功労賞に(株)日本タクシー山田健太郎様、永年勤続無線従事者に水野慎也様が授賞され、天野会長から表彰状と記念品が授与されました。

令和5年度事業計画案では、前年度に引き続き、タクシー無線の高度化に向けた取組み、許認可サポート事業の充実、さらには、名古屋地区での調査研究業務の協力支援を重点に事業を進めるとの提案があり、また、令和5年度予算案については、会員減や無線局減が続く財政状況を踏まえ、人件費の削減の継続や会議運営の効率化などにより効果的な支出に努めていくとの提案がされました。

議案審議の結果は、すべての議案が満場一致で承認され、議決権行使書による集約結果と併せて原案どおり承認・決定されました。

役員につきましては、天野会長をはじめとした役員が再選され、理事1名が交代し、遠鉄タクシー(株)の中村 昭 様が新たに理事に選任されました。

4年ぶりに開催された懇親会では、東海4県下の会員が久しぶりに交流し親交を深めました。



4年ぶりに懇親会を開催  
会員相互に交流

## 近畿協会

# 池田会長から坂本会長へ

コロナ感染症の 5 類移行など規制も大きく緩和され、また運賃改定がまさに取り組みられるなど、明るい兆しが見えてきた 5 月 29 日、奈良市のホテル日航奈良で開催されました。

今総会では、池田誠也会長が勇退し坂本榮二副会長が会長に選任されました。また 8 人の理事が新任され、新会長の下、新たな役員体制が確立されました。無線関係優良従業員表彰式や賛助会員等 7 社による無線機器・配車アプリの展示、11 名の来賓、通常スタイルでの懇親会等、近畿各地から総勢 104 名が参加し交歓する和やかな総会で、アフターコロナを実感させ、新たな飛躍を期待させる記念すべき総会となりました。

タクシー無線も、音声配車からデータ配車、そしてアプリ配車と高機能化、自動化がますます進み、乗務員やオペレータ不足等の課題改善や乗合やオンデマンドなどの多様なサービスへの対応が求められる中、会員減少、移動局減少、会費減少克服のためにも、新たなニーズに対応する新たな事業展開と一層の組織結集が求められています。



## 九州協会

# 経費削減のため簡素化して開催



当無線協会の第 62 回通常総会は、6 月 16 日、熊本市の「ザ・ニューホテル熊本」において開催されました。

今年度の総会も、従来の方針どおり経費削減措置（通常総会は当分の間、必要最小限の規模・内容とする）を踏襲し簡素化した形式で開催されました。最終的には正会員 14 名、事務局 2 名の出席となりましたが、多数の委任状提出により総会の成立要件は満たしました。

総会では冒頭、稲葉伸一郎会長が挨拶に立ち、「前日の全自無連通常総会に参加したが、全自無連に対し地方協会から会費を払えないという意見も出された。全自無連の財政を含む組織の在り方について正副会長会議で検討し、近日中に結論を出すこととなった。一方、当無線協会では諸課題解決のために会員の結集が求められているときであり、我々理事が工夫して組織を束ねていきたい」と述べられました。

続いて、功労者表彰及び議案審議が行われ、①令和 4 年度事業報告、②令和 4 年度決算報告及び監査報告、③令和 5 年度事業計画、④令和 5 年度収支予算、⑤任期満了による役員改選、⑥次期通常総会の開催地について、それぞれ事務局からの提案どおり、満場一致で決議・承認されました。

## 第 53 回通常総会 島根県松江市で開催

中国協会

コロナ禍以前の総会は、中国地方五県で持ち回り開催としていましたが、5年ぶりに広島県以外の6月7日松江市(会計年度5月)で開催することになり、会員206社中、43社が出席しました。

来賓として、中国運輸局の自動車交通部長（局長代読）、中国総合通信局無線通信部長、島根県警察本部刑事部長が出席されました。自動車交通部長は、「東日本大震災での経験を踏まえ、全国自動車無線連合会においてタクシー無線の災害対応マニュアルが策定され、乗客、乗務員の安全確保のため尽力されている。」無線通信部長は、「タクシー無線は災害に強いので、有効活用してほしい。」島根県警察本部刑事部長は、「タクシー無線を通じた情報提供等、捜査協力に対する謝意」を表明されました。(これらは祝辞の一部です。)

集中した議論は、全国的な課題ですが、当協会も同様に、会員の減少が止まらない状況での、今後の協会運営についてです。明るい兆しは見られず、この傾向は続くと思われる中で、前回の理事会では「公的機関へ支援等要請が必要。収入が増えなければ、支出を減らすしかない。このまま解散するのか。」等、厳しいご指摘がありました。

当協会の運営については、「今後、抜本的に見直しを図らなければならない。」と事務局から説明し、令和4年度事業報告、令和5年度事業計画、理事の変更等の議案について、全て承認が得られました。

最後に岩沖会長から、「タクシー事業について、コロナ不況から明るさが戻ってきたが、乗務員不足という新たな難題も出てきており、厳しい事業運営を強いられている。タクシー専用波を割り当てられているデジタル無線の維持には、協会の存続が不可欠であるから、皆様の一層の創意工夫と一致団結して、この難局を乗り越えましょう。」という、力強いことばで終了しました。

総会終了後、懇親会を開催しましたが、会員皆さまは、久々のコミュニケーションを交わす場となり、親交が深められました。



四国協会

## 総会理事会で全議案を承認

6月22日、高松市「香川県民ホール」において第63回通常総会（理事会）を正会員4団体（四国各県の自動車無線協会）、理事監事16名出席のもと開催し、議案はすべて承認されました。（来賓招聘なし、表彰なし）また、総会後はセミナーと委員会を開催しました。

・セミナー

「配車アプリの動向と今後」 講師：S.RIDE株式会社

・第47回四国地方防犯連合委員会

「特殊詐欺の現状と課題」 発表者：中国四国管区警察局、四国各県の警察本部



# 特集

## 業務用 IoT 無線の実現に向けて

### 業務用IoT無線に関する調査研究

全自無連では、令和元年度から IoT・モビリティ社会の進化に対応した業務用 IoT 無線の電波技術試験の調査研究に取り組んでいます。昨年度は、総務省東海総合通信局の「地域自営 IoT 無線の社会実証に向けた技術試験」を受託し、バス・タクシーの地域公共交通や自治体のゴミ収集などの車両を使った地域事業を支援するため、新しい自営デジタル無線を開発し、実証試験を行い、業務用 IoT 無線局の免許制度化の検討と通信技術試験等を行いました。

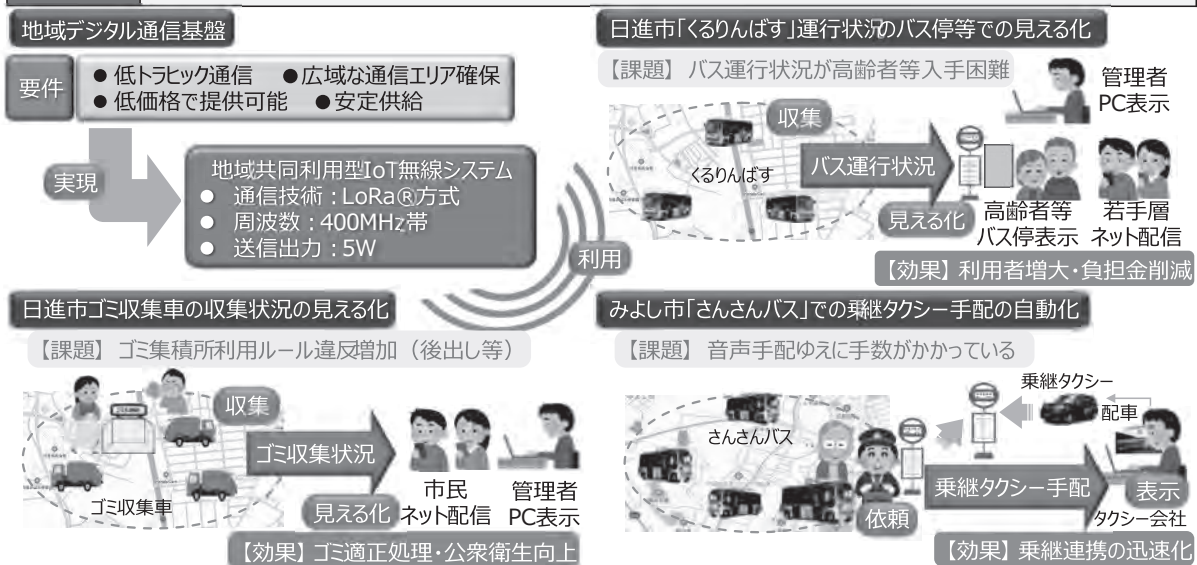


この IoT 無線には、LoRa 変調といわれる新しい通信技術をタクシー無線と同じ 450MHz 帯の自営無線局に採用しています。通信品質に優れ経済的な業務用 IoT 無線として、今年度、総務省に免許制度化を要望し、今後、全国各地への導入に向けた支援活動を展開します。

#### システム提案例

地域の公共サービスにおける課題解決のための IoT無線実証

<b>実施体制</b> (下線：代表機関)	全国自動車無線連合会、日進市、中部電子システム（株）ほか (愛知デジタル基盤活用推進協議会)	<b>実証地域</b>	愛知県日進市及びみよし市ほか
<b>通信技術</b>	LoRa®通信方式を400MHz帯高出力(5W)無線局に採用した地域共同利用型IoT無線システム	<b>目標</b>	期待効果まで実現し、来年度以降の本格導入に結び付ける。
<b>実証概要</b>	地域デジタル通信基盤として、データ通信量が少ないものの、安定して広域エリア（半径数十km）をカバーでき、低価格で提供可能な本通信技術を使用した地域共同利用型IoT無線システムを利用し、以下の3つの地域課題を同時解決できることを実証する。		



〔経済的な地域デジタル通信基盤の構築と地域課題の同時解決策〕

## 調査研究これまでの取組み

令和元年度は、東京において汎用性のある LPWA 技術の業務用自営無線への適応性について検討し、令和 2 年度には、近畿地区において、通信性能の検証と実用化への検討を行いました。

3 年度からは、中部地区において具体的な地域ニーズ把握と利用形態を検討し、昨年度は、「地域自営 IoT 無線システムの社会実証に向けた技術試験」を愛知県日進市において、①市内バス運行管理用の通信試験、②ゴミ収集車の収集状況のモニター化、③タクシー配車運行管理への適用通信試験の 3 つの通信アプリケーションによる同時運用を実証しました。

複数の通信アプリケーションによる IoT 通信試験は、広範な通信エリアをカバーする地域共同利用型の無線基地局のひとつの電波（周波数）を使用し、同じフィールド内で展開する地域交通や輸送、集配、点検供給や保安監視などの車両を使った各種作業の自動化を支援する経済的な業務用 IoT 無線として無線局の免許制度化と全国展開を目指すものです。

実施地域	実証する地域課題の解決（ソリューション）
愛知県尾三地域の導入検討支援	① 日進市内路線バス運行状況のバス停等での見える化 ② 日進市内のごみ収集作業の見える化及び Web 提供 ③ みよし市市内バスからの乗継タクシー手配の自動化
その他の地域への展開支援	① 東京（スカイタワー西東京）での通信展示等の設営 ② 沖縄タワー等での通信デモによる説明周知会の開催
全国ニーズ調べ	タクシー無線への適用検討をはじめ全国各地のニーズ調査・周知と紹介提案活動の展開

### 【実現に向けた今後の課題】

- ① 地域事業のデジタル変革の推進、地域公共交通システムの運営支援等
- ② 業務用 IoT 無線局の実現と利用促進、共同利用基地局の展開整備支援
- ③ 業務用 IoT 無線局の制度化への支援（技術基準、免許審査基準の提案）

実施年度	これまでの業務用 IoT 無線に関する調査研究	実施地域
令和 4 年	「地域自営 IoT 無線システムの社会実証に向けた技術試験」 ① 技術試験用 IoT 無線システムの設計 ② 技術試験用アプリケーションの設計検討 ③ 技術試験実施環境の設営及び技術試験の実施	愛知県日進市、ほか
令和 3 年	「地域自営 IoT 無線システムの社会実証に向けた調査検討」 ① 業務用 IoT 無線の地域ニーズの調査把握 ② 求められるユースケース（利用形態）検討 ③ 社会実証試験実施計画の検討	愛知県及びその周辺
令和 2 年	「一般業務用 IoT 無線の周波数有効利用に関する技術試験検証」 送受信 2 周波方式の 450MHz 帯一般業務用車載 IoT 無線を製作し、その基本性能の確認及びフィールド試験検証を行い、活用方策の検討を行った。	大阪はじめ関西地区
令和元年	「IoT・モビリティ社会に向けた一般業務用移動無線の有効利用方策及び共用技術に関する調査検討」（東京周辺で実施） ① 車載型業務用 IoT 無線のあり方の検討 ② LoRa 変調の技術適合性及び周波数有効利用方策の検討 ③ 400MHz 帯 IoT 移動通信システムの設計検討等	東京はじめ関東地区

## 構築・運用が経済的な自営無線

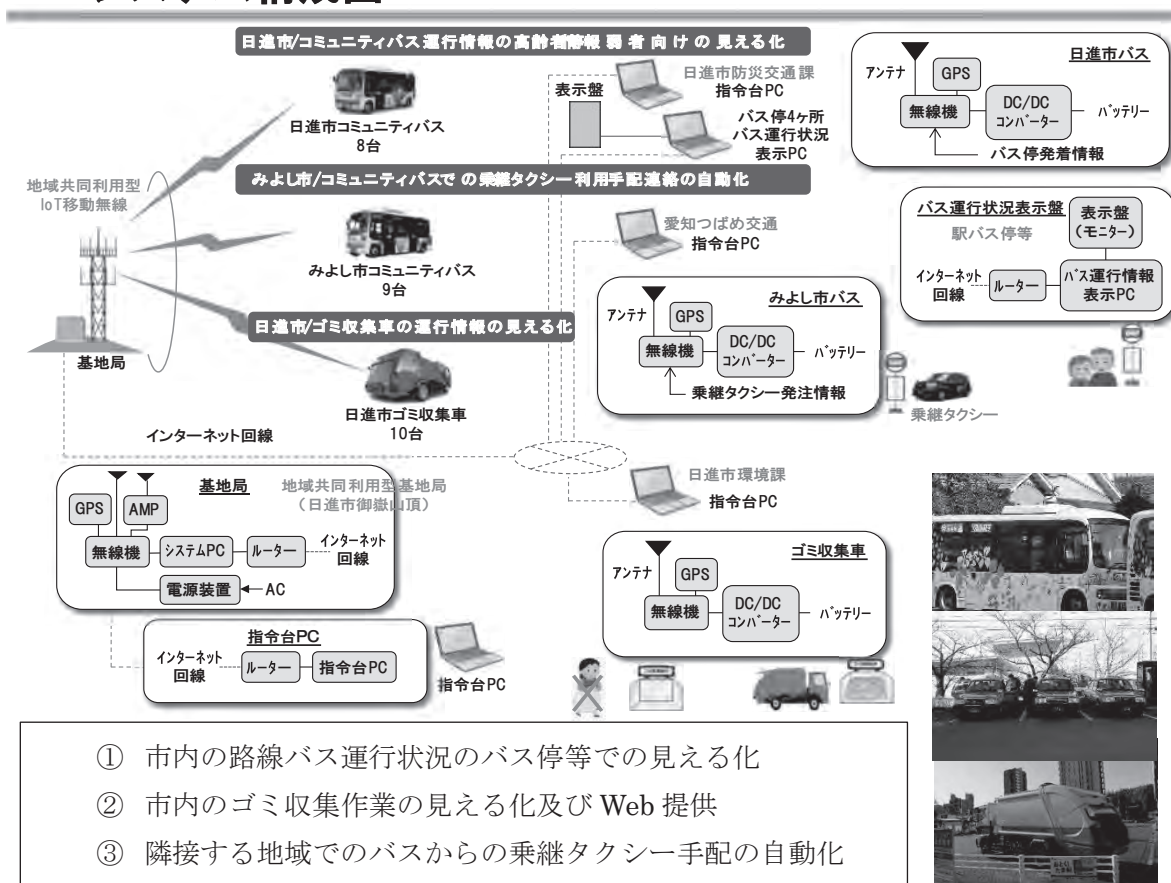
大都市や企業においては、5G などの高速・大容量の通信処理技術とビッグデータ、AI を活用し、街ぐるみ、あるいは産業全体としてデジタル変革（DX）が進められています。

一方、タクシー事業では、アプリ配車やキャッシュレスサービス、MaaS などがデジタル変革の一例と捉えられますが、地域事業の DX 化には多額のデジタル投資と運営コストを伴い、地方あるいは小規模事業者には大きな負担となることから、持続可能な DX 化の推進が求められています。

こうした DX 化は、利用者への利便性を高める一方で、同業者間の競争的運営を一層強め、車両数や利用頻度の少ない事業者にとっては、厳しい経営事情となります。そこで、競争や大量処理を追求するのではなく、地域の需要に見合った、効果的できめ細かく対応する DX 化が重要であり、特に、大都市周辺や地方における DX 化の促進には、その地域の利用(通信頻度)に応じた経済的な通信システムが望まれます。進化する DX 化の中であってタクシー事業では、さらに厳しい経営が求められ、できる限り空車走りを減らし、最も効果的に配車供給することが重要です。

経済的・効果的な車両運営は、タクシー事業だけではなく、車両を使った配送事業、点検回収事業などの車両動態作業管理にも当てはまります。DX デジタル変革は、利用頻度や需要、車両稼働や運営経費に見合った利用効果と経済性のあるものでなければなりません。愛知県日進市に提案中の自営 IoT 無線のシステム構成図を下図に示しますが、車両に搭載する自営 IoT 無線は、効果的活用と経済的運用が期待されています。

### システム構成図



## 研究成果を活かして地域 DX を推進

交通・産業・生活のあらゆる局面でのデジタル化が進展し、ICT の利便性と恩恵を享受して地域社会を豊かに、かつ新たな価値を創出できる地域デジタル基盤と経済的な IoT 移動無線の活用が求められています。昨年度、IoT 無線の技術試験を行った愛知県中央部の尾三地域では、公共交通機能や生活支援などの車両を使った地域事業の DX 化を推進し、地域のあらゆる交通手段のベストミックス化を図るため、地域共同利用型の IoT 無線システムによる地域デジタル通信基盤の活用を求める取組みが重要となっています。

全自無連は、これまで地域自営 IoT 無線の調査研究を進めてきた東京、大阪及び愛知をはじめ、タクシー無線の集中基地局などがある全国各地域での地域 DX を支援する取組みを進めてまいります。そのためには、今後、この自営 IoT 無線の利用効果と経済性などを積極的に示すモデル実証事業や展示講演会などに取り組みます。

## 社会モデル実証の計画支援



社会モデル実証事業に使用する地域デジタル通信基盤は、基地局 1 局に複数の移動局等からなる地域共同利用型の無線基地局を高所に設置し、その広範な通信ゾーン内にある地方公共団体の公共サービスの DX 化を経済的に実現させるため、限られた通信量を共有しながら、少ない通信頻度に対応したデジタル通信を効果的に実現させるための地域共同利用型の IoT 無線システムとしています。

高所に設置した基地局で必要な通信エリア全域をカバーさせ、かつ、通信インフラの共同利用により、広範な通信エリア内の地域DXを実現し、地域の人と生活に寄り添うDX化を支援します。

この地域共同利用型の自営IoT無線は、音声での通信はできないものの、定型的なメッセージ伝達機能も付加でき、利用する複数の通信アプリケーションは、互いに干渉せず、それぞれ独立した通信の同時通信を実現させます。また、実証事業では、オンデマンドタクシーを使った乗継タクシーの配車手配の自動化など、タクシー配車の多様化に合わせたモデル実証を行い、交通提供手段の改善解決にチャレンジします。

全自無連では今年、このIoT無線による社会実証事業として、総務省の地域デジタル基盤活用推進実証事業に応募しました。採択には至りませんでした。今後の実証事業の提案や各地での周知会などを行い、本IoT無線システムの導入と普及を支援してまいります。

今年度は、この経済的なIoT無線の全国展開に向けた公開デモンストレーションや周知会等の取組みを進めてまいります。



# 全自無連のうごき

令和4年9月～令和5年8月



年月日	主な動き (調査研究を除く)
R4. 9. 1	会報「タクシー無線」第61号発行
9. 22	移動通信課長業務説明 (総務省)
12. 5	年末挨拶回り (総務省)
12. 16	年末挨拶回り (国土交通省)
R5. 1. 1	情報誌「インフォメーションタクム」No.72 発行
1. 11	東京ハイヤー・タクシー協会賀詞交歓会 (ホテルニューオータニ)
1. 16	全自無連・関自無協・全タク連共催新年賀詞交歓会 (経団連会館)
1. 24	全日本トラック協会新年賀詞交歓会 (パレスホテル)
2. 20	東京ハイヤー・タクシー協会 門井専務理事通夜 (プリエ宮原)
3. 7	第63回通常総会会場下見・打合せ (東京グリーンパレス)
3. 9-10	情報通信講演会講演 (パシフィックホテル沖縄)、沖縄総合通信事務所挨拶
3. 16	全自無連・関自無協共催 通信技術セミナー2023 (自動車会館)
3. 17	令和5年3月期全国専務理事会議 (自動車会館)
3. 28	中央非常通信協議会総会 (Webex)
4. 10	国土交通省旅客課挨拶、総務省電波部報告相談
4. 12	令和5年4月期正副会長会 (自動車会館)
4. 14	第63回通常総会会場打合せ (東京グリーンパレス)
4. 14-28	令和4年度第3回理事会 (書面開催)
4. 24	関自無協東京支部通常総会 (グランドヒル市ヶ谷)
4. 25	電波協力会 総会 (アルカディア市ヶ谷)
5.10 及 12	業務会計監査 (自動車会館)
5. 11	関東協会通常総会 (富士吉田市・ハイランドリゾートホテル&スパ)
5. 15-25	令和5年度第1回理事会 (書面開催)
5. 19	総会来賓案内 (総務省・国土交通省)
5. 23	信越協会通常総会 (新潟市・新潟グランドホテル)
5. 29	近畿協会通常総会 (奈良市・ホテル日航奈良)
5. 31	第63回通常総会打合せ (東京グリーンパレス)
6. 1	電波の日中央記念式典・情報通信月間推進協議会総会等 (帝国ホテル)
6. 6	表彰記念品選定 (すみだ和ガラス館)
6. 14	黒土始元相談役お別れの会 (リーガロイヤルホテル小倉)
6. 15	令和5年6月期臨時正副会長会・第63回通常総会・令和5年度第2回理事会・懇親会 (東京グリーンパレス)
6. 26	(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会通常総会 (経団連会館)
6. 27	役員登記申請 (東京法務局)
7. 24	第64回通常総会打合せ (東京グリーンパレス)
8. 1	会長挨拶回り (総務省)
☞その他	電波法人会「定例会」(9/13 Zoom、10/11 当番回対面、11/8、12/20、1/17、2/28、3/14、4/11、5/16、6/13、7/11) 外部セミナー・展示会等 (10/17)



年月日		調査研究の主な動き
R4.	9. 8-9	議事録案調整・技術試験計画説明（名古屋市・日進市）
	9. 12	議事録案調整・技術試験計画説明（浜松市・名古屋市）
	9. 15	阪田主査議事録案説明
	9. 29-30	実験局検査点検立会（小金井）
	10. 13	計画説明・連携協定締結、工事落成届等提出・免許交付（日進市・名古屋市）
	10. 24-25	デバッグ試験実施計画事前打合せ（名古屋市等）
	11. 8-11	デバッグ試験（日進市）
	11. 22-23	第2回技術試験実施計画説明（日進市・名古屋市）
	11.28- 12.2	第2回技術試験（名古屋市・日進市）
	12. 21	第2回調査検討会（名古屋市 ウィンクあいち）
	12. 22	計画説明等日進市打合せ（日進市役所）
	R5.	1. 18-19
1. 30-2.2		第3回技術試験、第3回調査検討会（日進市）
2. 15		5年度実証事業計画打合せ
2. 16-17		移動無線センター竹の山鉄塔調査、日進市実証構想打合せ等
3. 2-3		日進市実証事業計画打合せ、東海総合通信局打合せ
3. 13		IoT 無線調査研究説明会、主管課事前説明打合せ他（自動車会館）
3. 17		地域デジタル活用支援セミナー第2回（Webex）
3. 23		地域デジタル基盤活用事業公募説明会（Webex）
3. 23		CCC ネットワークセミナー講演（Zoom）
3. 24		令和4年度調査研究報告書手交式（東海総合通信局）他
3. 30-31		令和4年度調査研究報告書納品（東海総合通信局）
4. 20-21		日進市事業計画説明等（名古屋市他）
4. 21		地域デジタル基盤活用推進事業事前相談（総務省地域通信振興課）
5. 25-26		日進市等打合せ（愛知県）
5. 30		東海総合通信局等打合せ（愛知県）
6. 1		電波の日東海総合通信局長表彰同行（名古屋市・名古屋観光ホテル）
6. 20		実証事業実施計画企画相談会（新宿）
6. 29-30		日進市実証事業計画事前調査等（愛知県）
7. 4		実証事業応募打合せ（新宿）
7. 6		情報通信フロンティアセミナー講演（名古屋市・栄インキュベーションセンター）
7. 7		日進市実証事業計画説明会等（愛知県）
7. 12		地域デジタル基盤活用実証事業応募
7. 13-14		東海総合通信局、愛知県庁、みよし市等打合せ（愛知県）
8. 10		実証計画書打合せ（新宿）
8. 25		実証事業計画打合せ（新宿）

令和5年5月～  
令和5年8月  
各自動車無線協会のうごき

各協会の皆様には、5/15～25 書面審議「令和5年度第1回理事会」、6/15 開催「令和5年6月期臨時正副会長会」、「第63回通常総会」、「令和5年度第2回理事会」にも、多数のご出席や多大なご協力を頂きました。どうもありがとうございました。

◇北海道ハイヤー無線協会

- R5. 5. 23 令和5年度通常総会  
6. 1 電波の日記念式典出席  
6. 15 全自無連第63回通常総会等出席（東京）  
7. 10 札幌移動無線センター（タクシー集中基地）視察会  
7. 26 第三級陸上特殊無線技士養成講習会  
7月～ 令和5年度無線局定期検査受検についての周知  
(該当会員を対象に検査指定月の2か月前を目途に周知文書を順次発出)

◇東北自動車無線協会

- R5. 5. 8 仙台移動無線センター総会開催（仙台市）  
5. 8 (一財)仙台移動無線センター資産管理協会評議員会開催（仙台市）  
5. 30 協会宮城県支部総会開催（仙台市）  
6. 1 令和5年度「電波の日・情報通信月間記念式典」出席（仙台市）  
6. 14 協会第63回通常総会開催（盛岡市）  
6. 15 全自無連第63回通常総会等出席（東京、理事3名出席・専務理事陪席）  
6. 21 東北受信環境クリーン協議会総会出席（仙台市）  
7. 5 東北ハイタク連合会令和5年度通常総会出席（青森市）

◇関東自動車無線協会

- R5. 5. 11 関自無協 第63回通常総会（富士吉田市 ハイランドリゾート&スパ）  
5. 25 (一社)東京ハイヤー・タクシー協会通常総会へ参加（ホテルニューオータニ）  
5. 29 関東受信環境クリーン協議会 総会に参加（KKR）  
6. 1 「電波の日・情報通信月間」記念式典へ参加（東京會館）  
6. 15 全自無連 第63回通常総会等へ参加（東京グリーンパレス）  
6. 26 (一社)全国ハイヤー・タクシー連合会総会懇親会へ参加（経団連ホール）  
7. 3 関自無協会報第97号を発行  
7. 5 来年度総会会場の下見（栃木県 鬼怒川温泉）  
7. 12 来年度総会会場の下見（栃木県 那須塩原）  
7. 18 東京タクシー防犯協力会通常総会へ参加（アルカディア市ヶ谷）  
7. 25 第三級陸上特殊無線技士養成講座体験受講（一社 無線従事者養成センター）  
8. 9 関東総合通信局長の交替に伴い表敬訪問  
8. 10 関東運輸局長の交替に伴い表敬訪問

#### ◇信越自動車無線協会

- R5. 5. 1 信越協会報第 138 号発行（定期検査指定無線局掲載）
- 5. 17 令和 5 年無線局再免許に係る免許状送付（2 会員 1 団体）
- 5. 23 第 64 回通常総会（新潟市）
- 6. 8 代表理事等令和 5 年度役員変更法人登記手続き
- 6. 15 全自無連 全国総会等出席（松葉会長他 3 名）
- 6. 26 公益サイトによる情報公開（R5 ディスクロージャー）
- 7. 14 信越総合通信局 新局長 表敬挨拶
- 7. 19 信越総合通信局 新無線通信部長 表敬挨拶
- 7. 31 信越協会報第 139 号発行

#### ◇北陸自動車無線協会

- R5. 5. 1 金沢移動無線センター事業協同組合令和 5 年度第 1 回理事会（書面）
- 5. 9 金沢移動無線センター事業協同組合確定申告
- 5. 12 令和 5 年度税制改正大綱解説セミナー（専務理事参加）
- 5. 15 令和 5 年度再免許状発送（4 対象会員）
- 5. 24 北陸受信環境クリーン協議会通常総会（金沢市）
- 5. 25 全自無連令和 5 年度第 1 回理事会（書面）
- 6. 1 令和 5 年度「電波の日・情報通信月間」記念式典（専務理事出席）
- 6. 1 通常総会会場ホテル打合せ（ホテル金沢）
- 6. 8 令和 5 年度(第 59 回)通常総会、第 2 回理事会（金沢市）
- 6. 9 北陸地方非常通信協議会令和 5 年度通常総会（専務理事出席）
- 6. 15 全自無連第 63 回通常総会、正副会長会、理事会（東京）（会長、副会長、専務理事出席）
- 6. 20 北陸総合通信局と打合せ（自動運転関係等）
- 6. 22 金沢移動無線センター事業協同組合令和 5 年度通常総会、第 2 回理事会（金沢市）
- 6. 22 日無協主催無線従事者養成講習（金沢） 3 名受講
- 6. 23 会報誌（タクムほくりく令和 5 年度 No.2）及び総会議案書、会員名簿、会費請求書発送
- 6. 30 役員変更法務局登記申請
- 7. 6 北陸総合通信局長訪問（専務理事対応）
- 7. 7 北陸総合通信局主催情報通信セミナー（専務理事参加）
- 8. 25 令和 5 年度第 1 回総務委員会（書面審議）

#### ◇東海自動車無線協会

- R5. 5. 9 総会表彰者記念品選定
- 5. 22 令和 5 年度無線局再免許状発送
- 5.25-26 全自無連調査研究事務打合せ（日進市他）
- 5. 30 会長との打合せ(東海自無協総会関係)
- 5. 30 全自無連調査研究事務打合せ（東海総通局他）

- 6. 1 令和5年度電波の日・情報通信月間記念式典出席
- 6. 5 東海自動車無線協会第41回通常総会（名鉄グランドホテル）
- 6. 9 名古屋無線集中協会事務（設備管理打合せ）
- 6. 15 全自無連第63回通常総会等（東京）
- 6. 19 役員登記申請事務打合せ
- 6.29-30 全自無連調査研究事務打合せ（東海総通局、名城大学等）
- 6. 30 令和5年度東海地方非常通信協議会定期総会
- 7. 3 会報「自無協だより」（夏号）発行
- 7. 6 情報通信フロンティアセミナー
- 7. 6-7 全自無連調査研究事務打合せ（日進市他）
- 7. 11 名古屋無線集中基地協会事務打合せ
- 7.13-14 全自無連調査研究事務打合せ（愛知県庁、名古屋大学、静岡大学等）
- 7. 20 名古屋無線集中基地施設火災保険等打合せ
- 7. 21 社会保険事務講習会（事務員）
- 7. 21 東海総合通信局無線通信部長へ着任挨拶
- 8. 28 名古屋無線集中基地協会事務打合せ
- 8. 31 東海情報通信懇談会情報通信月間推進委員会（第3回）

#### ◇近畿自動車無線協会

- R5. 5. 18 兵庫県支部総会出席（神戸市内）
- 5. 29 令和5年度通常総会（ホテル日航奈良）
- 5. 30 総会来賓（近畿総通局、近畿運輸局）へ謝辞（大阪市内）
- 6. 1 電波の日・情報通信月間記念式典出席（ホテルニューオータニ大阪）
- 6. 7 非常通信協議会総会出席（KKR ホテル大阪）
- 6. 15 全自無連第63回通常総会等出席（東京）
- 6. 19 大阪集中基地局管理会社 会計監査（大阪市内）
- 7. 6 大阪集中基地局管理会社 取締役会（大阪市内）
- 7. 7 会報「近自無協だより No.249 令和5年夏号」発行
- 7. 31 大阪集中基地局管理会社 株主総会（ホテルグランヴィア大阪）

#### ◇中国自動車無線協会

- R5. 5. 10 第53回通常総会へ中国運輸局長、中国総合通信局長、島根県警察本部刑事部長  
に出席要請
- 5. 17 監事により会計監査を実施
- 5.18-24 サミット開催により公共交通機関がストップ
- 5. 24 第1回理事会を広島市で開催
- 6. 1 電波の日の式典に岩沖会長、内田専務理事が出席  
（国会議員秘書に協会運営及びタクシー無線への支援要請）
- 6. 7 第67回通常総会を松江市で開催
- 6. 15 全自無連第63回通常総会等（東京）に岩沖会長、岩本監事が出席
- 6. 23 広島移動無線センターの広島集中基地局の定期点検

- 6. 30 広島県タクシー協会広島支部総会へ出席
- 7. 11 広島法務局へ法人変更登記申請書を提出
- 7. 21 中国ハイヤー・タクシー連合会総会出席
- 7. 24 広島県タクシー協会へ訪問（事務所替え打合せ）
- 7. 25 税理士による会計監査の実施
- 7. 26 中国総合通信局長新任あいさつ
- 7. 27 上記の法人登記完了
- 8月 自動車無線情報 223(会報誌)の発行

#### ◇四国自動車無線協会

- R5. 5. 6 渡部会長との会長打合せ (Tel)
- 5. 10 理事会 (書面)
- 5. 16 渡部会長との打合せ (事務所)
- 5. 22 再免許の免許状送付
- 6. 6 渡部会長との打合せ (Tel)
- 6. 15 全自無連第 63 回通常総会等出席 (東京)
- 6. 20 渡部会長との打合せ (Tel)
- 6. 22 第 63 回通常総会、理事会 (香川県県民ホール)
- 6. 22 セミナー (香川県県民ホール)
- 6. 22 第 47 回四国地方防犯連合委員会 (香川県県民ホール)
- 7月 理事監事の変更登記
- 8月 会報「四国タクシー無線通巻 133 号」発行
- 8月 会長打合せ

#### ◇九州タクシー無線協会

- R5. 5. 23 九州受信環境クリーン協議会総会 (専務理事出席)
- 5. 25 九州地方非常通信協議会総会 (書面) ~6/7
- 6. 1 電波の日式典 (会長・専務理事出席)
- 6. 15 全自無連第 63 回通常総会等出席 (東京)
- 6. 16 第 61 回通常総会 (熊本市)
- 6. 16 会員名簿 (2023 年度版) 発送
- 6. 16 総会終了に伴うホームページ更新
- 6. 20 IT 業者によるシステム点検
- 6. 22 法務局へ変更登記申請
- 7. 3 会報「九州タクシー無線」7月号発行
- 7. 3 会費値上げの周知文書送付 (壱岐・対馬・北薩・奄美の会員あて)
- 7. 20 九州総合通信局新任局長へ挨拶 (会長・専務理事)
- 7. 27 九州総合通信局新任局長へ挨拶 (電気通信法人会)
- 8. 30 IT 業者によるシステム点検



## 資 料

- 正会員名簿 33
- 都道府県別タクシー無線の状況 34
- 都道府県別共同配車センター状況 38
- 年度別共同配車センターの団体数 39
- 賛助会員名簿 40





## 正 会 員 名 簿

団 体 名	所 在 地	会 長 名
一般社団法人 北海道ハイヤー無線協会	〒064-0808 札幌市中央区南8条西15丁目4-1 北海道ハイヤー会館内 TEL (011)561-1171 / FAX (011)551-0161	紫藤 正行
一般社団法人 東北自動車無線協会	〒983-0862 仙台市宮城野区二十人町301-22 タクシー会館3F TEL (022)292-7890 / FAX (022)292-7891	石川 康夫
一般社団法人 関東自動車無線協会	〒102-0074 千代田区九段南4-8-13 自動車会館3F TEL (03)3262-5262 / FAX (03)3221-7047	高野 公秀
一般社団法人 信越自動車無線協会	〒381-0034 長野市大字高田字高田沖359-3 長野県タクシー会館3F TEL (026)226-3866 / FAX (026)226-4414	松葉 和彦
一般社団法人 北陸自動車無線協会	〒920-0918 金沢市尾山町9-13 金沢商工会議所会館3F TEL (076)222-4145 / FAX (076)222-4145	土田 英喜
一般社団法人 東海自動車無線協会	〒460-0008 名古屋市中区栄1-21-10 つばめ第2栄ビル3F TEL (052)231-2545 / FAX (052)228-0136	天野 清美
一般社団法人 近畿自動車無線協会	〒540-0012 大阪市中央区谷町1-6-4 天満橋八千代ビル4F TEL (06)6941-4600 / FAX (06)6946-1660	坂本 榮二
一般社団法人 中国自動車無線協会	〒730-0004 広島市中区東白島町21-16 多田ビル3F TEL (082)221-9357 / FAX (082)221-9337	岩沖 卓雄
一般社団法人 四国自動車無線協会	〒790-0067 松山市大手町1-7-4 伊予鉄大手町ビル3F TEL (089)943-5354 / FAX (089)907-6133	渡部 光男
一般社団法人 九州タクシー無線協会	〒860-0805 熊本市桜町2-17 第2甲斐田ビル4F TEL (096)353-3916 / FAX (096)288-1260	稲葉 伸一郎

## 都道府県別タクシー無線の状況

協会名	都道府県	免許人数	所属会員数		基地局数				陸上移動		
			会員数	賛助会員数	合計	内訳			合計 <small>※再掲を含まない</small>	内	
						π/4QPSK方式	4値FSK方式	アナログ方式		π/4QPSK方式	4値FSK方式
北海道	札幌地区	73	59	/	75	55	20	0	5,041	4,734	307
	函館地区	23	17		21	5	16	0	696	394	302
	室蘭地区	12	8		14	6	8	0	356	251	105
	旭川地区	26	20		25	12	13	0	860	663	197
	十勝地区	11	9		11	6	5	0	275	236	39
	釧根地区	17	13		17	9	8	0	491	392	99
	北見地区	12	0		13	11	2	0	335	308	27
	小計	174	126		0	176	104	72	0	8,054	6,978
東北	青森	70	74	/	71	24	47	0	1,924	1,105	819
	岩手	103	110		102	23	79	0	1,534	601	933
	秋田	49	55		54	16	38	0	892	550	342
	宮城	93	107		96	31	65	0	2,340	1,134	1,206
	山形	52	59		59	21	38	0	1,038	624	414
	福島	85	89		97	47	50	0	1,671	1,083	588
	小計	452	494		22	479	162	317	0	9,399	5,097
関東	東京	43	138	/	47	43	4	0	5,412	5,335	77
	神奈川	81	96		89	72	17	0	4,115	3,806	309
	埼玉	77	92		74	59	15	0	2,424	2,131	293
	千葉	92	111		96	59	37	0	3,105	2,609	496
	茨城	103	114		101	19	82	0	1,192	371	821
	栃木	32	42		34	12	22	0	515	266	249
	群馬	31	33		29	12	17	0	755	536	219
	山梨	39	42		38	4	34	0	378	65	313
	小計	498	668		28	508	280	228	0	17,896	15,119
信越	長野	63	67	/	70	24	46	0	1,728	1,214	514
	新潟	74	71		71	29	42	0	1,600	972	628
	小計	137	138		14	141	53	88	0	3,328	2,186
北陸	石川	40	47	/	38	22	16	0	1,222	1,034	188
	富山	32	41		33	18	15	0	727	533	194
	福井	19	31		16	9	7	0	381	268	113
	小計	91	119		13	87	49	38	0	2,330	1,835

(2023.3.31 現在)

局数		AVMシステム利用		配車アプリ利用	IP無線利用			MCA無線利用 ※注2	
訳	アナログ方式	利用免許人数	利用移動局数		利用会員数	利用移動局数	配車アプリ利用	利用免許人数	利用移動局数
				携帯型(指導車等) ※(内は再掲)					
0	0	67	3,256	0	9	324	0		
0	0	12	480	0	2	12	0		
0	0	9	225	0	3	74	0		
0	0	18	546	0	7	55	0		
0	0	13	270	0	3	63	0		
0	0	11	332	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0	0	0		
0	0	130	5,109	0	24	528	0	3   16	
0	0	34	1,426	15	4	29	0		
0	0	44	1,009	8	7	205	0		
0	0	20	636	8	6	87	0		
0	0	49	1,484	27	14	839	0		
0	0	27	761	6	7	59	0		
0	0	59	1,045	7	5	34	0		
0	0	233	6,361	71	43	1,253	0	9   128	
0	0	37	5,313	0	100	17,848	0		
0	0	77	4,057	0	14	907	0		
0	0	68	2,274	0	17	420	0		
0	0	86	2,943	0	19	941	0		
0	0	49	780	0	14	377	0		
0	0	22	435	0	8	191	0		
0	0	16	618	0	5	155	0		
0	0	12	193	0	4	41	0		
0	0	367	16,613	0	181	20,880	0	6   511	
0	()	42	1,533	810	12	521	290		
0	()	44	1,360	491	8	240	165		
0	()	86	2,893	1,301	20	761	455	4   34	
0	0	26	1,097	10	7	84	1		
0	0	26	613	7	7	99	3		
0	0	17	344	0	11	258	3		
0	0	69	2,054	17	25	441	7	4   35	

協会名	都道府県	免許人数	所属会員数		基地局数				陸上移動		
			会員数	賛助会員数	合計	内訳			合計 ※再掲を含まない	内	
						π/4QPSK方式	4値FSK方式	アナログ方式		π/4QPSK方式	4値FSK方式
東海	岐阜	21	33		37	27	10	0	1,031	897	134
	静岡	65	66		67	50	17	0	2,492	2,207	285
	愛知	50	64		60	45	15	0	3,607	3,342	265
	三重	15	17		22	14	8	0	555	477	78
	小計	151	180	10	186	136	50	0	7,685	6,923	762
畿	大阪	32	41		29	26	3	0	2,518	2,443	75
	京都	23	19		19	19	0	0	2,748	2,748	0
	兵庫	28	30		30	16	14	0	950	771	179
	奈良	29	23		21	8	13	0	473	282	191
	和歌山	15	14		14	4	10	0	292	161	131
	滋賀	14	12		15	12	3	0	492	447	45
小計	141	139	11	128	85	43	0	7,473	6,852	621	
中	広島	84	79		82	56	26	0	2,128	1,840	288
	岡山	34	36		42	17	23	2	813	599	191
	山口	44	43		40	22	18	0	792	604	188
	鳥取	16	16		23	9	14	0	396	255	141
	島根	36	35		36	6	30	0	463	217	246
	小計	214	209	32	223	110	111	2	4,592	3,515	1,054
四	徳島	14	14		14	1	13	0	164	45	119
	香川	45	74		37	11	26	0	776	540	236
	愛媛	55	78		44	19	25	0	903	553	350
	高知	45	46		38	12	26	0	688	419	269
	小計	159	212	10	133	43	90	0	2,531	1,557	974
九	福岡	102	131		95	70	25	0	5,249	3,811	1,438
	佐賀	15	16		17	9	8	0	299	162	137
	長崎	44	64		44	8	36	0	1,225	432	793
	熊本	24	42		20	11	9	0	702	421	281
	大分	25	31		25	8	17	0	537	271	266
	宮崎	23	28		36	26	10	0	991	839	152
	鹿児島	42	57		42	16	26	0	1,440	907	533
小計	275	369	22	279	148	131	0	10,443	6,843	3,600	
合計		2,292	2,654	162	2,340	1,170	1,168	2	73,731	56,905	16,803
※注1	沖縄県	34	-	-	26	20	6	0	1,427	1,323	104

注1) 沖縄県のデータ(参考)は、総務省沖縄総合通信事務所の統計による。

注2) MCA無線利用については、(一財)移動無線センターの「地区別デジタルMCAタクシー無線局統計表」による。

局数		AVMシステム利用		配車アプリ利用	IP無線利用			MCA無線利用 ※注2	
訳	アナログ方式	利用免許人数	利用移動局数		利用会員数	利用移動局数	配車アプリ利用	利用免許人数	利用移動局数
				携帯型(指導車等) ※(○内は再掲)					
0	0	17	971	0	13	450	0		
0	0	41	2,332	0	13	706	0		
0	0	37	3,488	0	20	2,580	0		
0	0	8	517	0	5	161	0		
0	0	103	7,308	0	51	3,897	0	9   155	
0	0	24	2,494	0	18	2,775	0		
0	0	12	2,748	0	6	542	0		
0	0	16	904	0	8	707	0		
0	0	18	459	0	4	58	0		
0	0	6	245	0	5	105	0		
0	0	9	467	0	3	180	0		
0	0	85	7,317	0	44	4,367	0	8   249	
0	0	49	1,852	0	5	198	0		
23	0	11	647	0	6	142	0		
0	0	29	674	0	1	6	0		
0	0	9	361	0	0	0	0		
0	0	4	129	0	5	214	0		
23	0	102	3,663	0	17	560	0	8   94	
0	0	3	98	0	0	0	0		
0	0	26	665	0	25	420	0		
0	0	44	746	0	23	420	0		
0	0	37	568	0	1	7	0		
0	0	110	2,077	0	49	847	0	6   81	
0	(4)	88	5,072	0	28	1,688	0		
0	(2)	9	199	0	1	52	0		
0	(1)	18	916	0	22	541	0		
0	(2)	16	628	0	16	646	0		
0	(2)	10	333	0	7	71	0		
0	(5)	19	852	0	8	131	0		
0	(4)	13	955	0	14	265	0		
0	(20)	173	8,955	0	96	3,394	0	31   487	
23	(20)	1,458	62,350	1,389	550	36,928	462	88   1,790	
0	0	-	-	-	-	-	-	0   0	



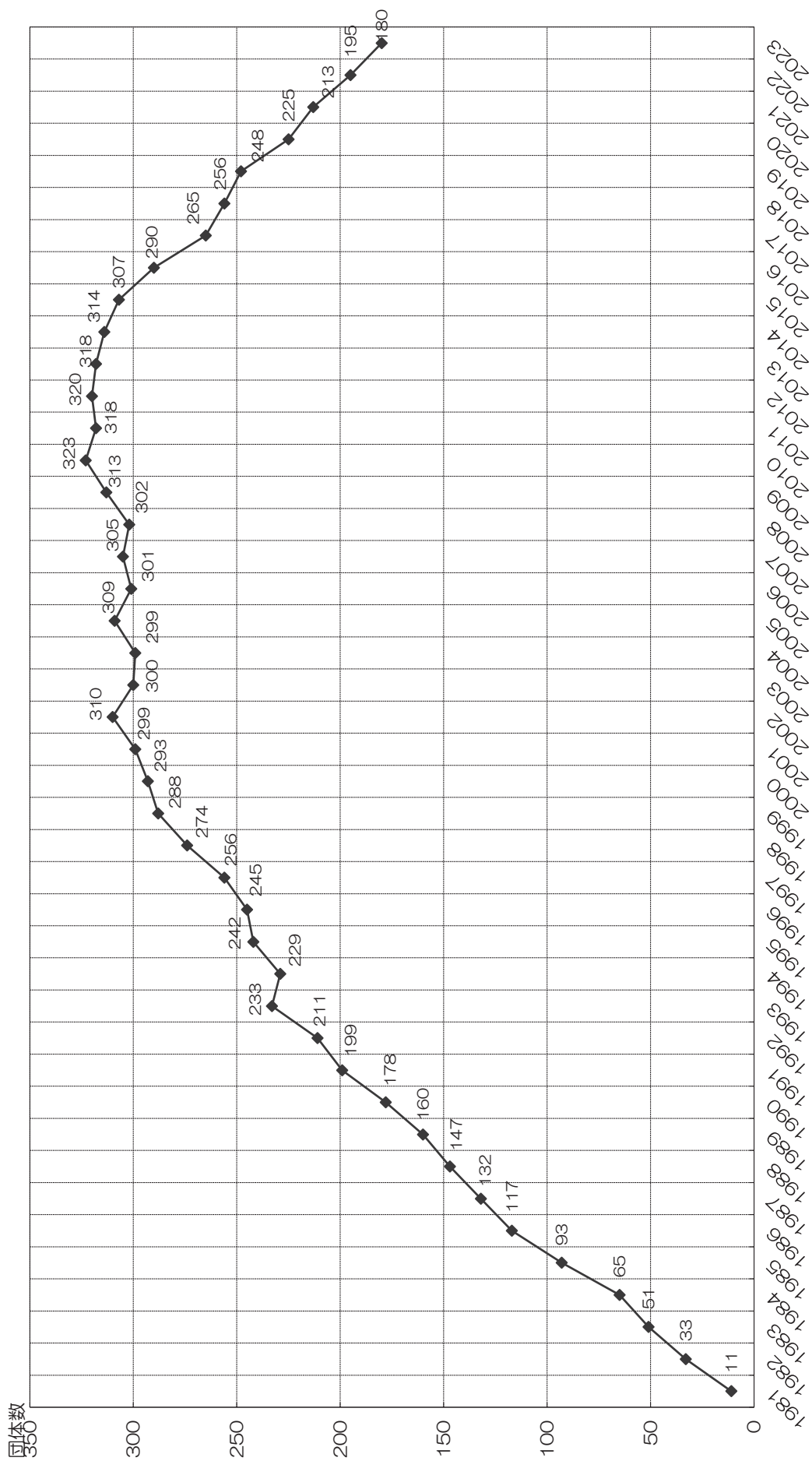
# 都道府県別共同配車センター状況

(2023.3.31 現在)

協会名	都道府県	団体数 (A)	所属車両数 (B)	構成事業者数 (C)	1団体あたりの 平均保有車両台数 (B) ÷ (A)
北海道	札幌地区	7	1,537	16	219.6
	函館地区	2	110	4	55.0
	室蘭地区	0	0	0	0.0
	旭川地区	2	153	3	76.5
	十勝地区	0	0	0	0.0
	釧根地区	0	0	0	0.0
	北見地区	1	10	2	10.0
	小計	12	1,810	25	
東北	青森	5	488	10	97.6
	岩手	4	139	9	34.8
	秋田	0	0	0	0.0
	宮城	5	419	11	83.8
	山形	1	14	2	14.0
	福島	8	521	21	65.1
	小計	23	1,581	53	
関東	東京	4	614	13	153.5
	神奈川	11	1,933	38	175.7
	埼玉	6	598	22	99.7
	千葉	9	1,336	30	148.4
	茨城	4	122	11	30.5
	栃木	0	0	0	0.0
	群馬	2	123	6	61.5
	山梨	1	18	3	18.0
	小計	37	4,744	123	
信越	長野	3	227	6	75.7
	新潟	4	186	10	46.5
	小計	7	413	16	
北陸	石川	4	406	11	101.5
	富山	3	306	7	102.0
	福井	2	135	5	67.5
	小計	9	847	23	
東海	岐阜	1	80	2	80.0
	静岡	5	422	11	84.4
	愛知	4	193	8	48.3
	三重	1	16	2	16.0
	小計	11	711	23	
近畿	大阪	3	501	7	167.0
	京都	6	1,131	16	188.5
	兵庫	2	122	6	61.0
	奈良	4	117	8	29.3
	和歌山	2	133	4	66.5
	滋賀	1	36	2	36.0
	小計	18	2,040	43	
中国	広島	8	492	19	61.5
	岡山	1	71	2	71.0
	山口	4	218	11	54.5
	鳥取	0	0	0	0.0
	島根	1	5	2	5.0
	小計	14	786	34	
四国	徳島	0	0	0	0.0
	香川	7	245	11	35.0
	愛媛	8	104	19	13.0
	高知	7	215	14	30.7
	小計	22	564	44	
九州	福岡	12	804	32	67.0
	佐賀	0	0	0	0.0
	長崎	5	213	13	42.6
	熊本	3	324	10	108.0
	大分	3	150	6	50.0
	宮崎	3	425	7	141.7
	鹿児島	1	36	2	36.0
	小計	27	1,952	70	
合計		180	15,448	454	

注) 協同組合は含まない。

年度別共同配車センターの団体数



## 賛 助 会 員 名 簿

団 体 名	所 在 地	代 表 者
株式会社システムオリジン	〒424-0809 静岡市清水区天神 1-3-12 TEL (054)361-0210 (代表)	海野 知之
新潟通信機株式会社	〒950-8580 新潟市中央区上所中 3-14-8 TEL (025)282-1800 (大代表)	梶山 美佐男
株式会社デンソーテン	〒652-8510 神戸市兵庫区御所通 1-2-28 TEL (078)803-8824	太場 清貴
トム通信工業株式会社	〒223-0057 横浜市港北区新羽町 1244 TEL (045)543-3800	星 敏典
パナソニックコネクト株式会社	〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町 600 TEL (045)938-1543	千秋 賢一
モバイルクリエイイト株式会社	〒870-0823 大分市東大道 2-5-60 TEL (097)576-8181	村井 雄司
西菱電機株式会社	〒105-0012 港区芝大門 1-1-30 芝 NBF タワー12F TEL (03)5777-3974	宮本 朗
ソフトバンク株式会社	〒105-7317 港区東新橋 1-9-1 東京汐留ビルディング 17F TEL (03)6889-9311	原田 一
一般社団法人沖縄総合無線センター	〒900-0027 沖縄県那覇市山下町 18 番 26 山下市街地住宅 B-205 TEL (098)996-3304	親泊 一郎
GO 株式会社	〒106-6216 港区六本木 3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー16F TEL (03)6633-2820	中島 宏
S.RIDE 株式会社	〒105-7105 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター5階 TEL (03)6837-4085	橋本 洋平

## 編集後記

猛暑が長く続く中、タクシー需要の回復と無線配車の活用と全自無連の立ち位置が問われています。コロナ明けも、今後の全自無連の活動や機能について、厳しい声もいただいております、今後の組織対応が求められています。

本号は、総会報告が中心になりましたが、今後の活動について支援と助言を求めた現状報告となっています。

会員、皆さまの助言・支援を期待し、本号を発行するものです。引き続き、ご支援と助言を願いたします。

(編集担当：岡崎、古山)

タクシー無線 2023年（令和5年）9月 第62号

一般社団法人 全国自動車無線連合会

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-13 自動車会館

電話 (03)3262-5261 FAX (03)3221-7047



わが国唯一の総合的な無線従事者育成機関  
**公益財団法人 日本無線協会**

当協会の主な事業について

1 国家試験事業(総務大臣指定試験機関)

無線従事者の全資格(23 資格)の国家試験を実施しています。

令和 5 年度特殊無線技士(陸上関係)試験日程(試験地:本部及び各支部所在地)

資格	令和 5 年 10 月期	令和 6 年 2 月期	備考
第一級陸上特殊無線技士	10 月 24 日(火)	2 月 9 日(金)	お申込は、試験月の 2 か月前の 1 日から 20 日まで受付しています。 (CBT は試験日の 14 日前まで)
第二級陸上特殊無線技士	CBT(Computer Based Testing)方式による国家試験を連日実施中。詳しくは日本無線協会 HP で確認願います。		
第三級陸上特殊無線技士			

注:上記の他に例年 6 月期にも実施しています。

2 養成課程事業

無線従事者の資格は、総務大臣の認定を受けた養成課程を修了することによって取得できます。

令和 5 年度養成課程(陸上関係)実施日程(協会本部開催分)

資格	実施 期 日
第一級陸上特殊無線技士	令和 5 年 9 月 26 日(火)~10 月 4 日(水)、12 月 13 日(水)~12 月 21 日(木)、令和 6 年 2 月 29 日(木)~3 月 8 日(金)
第二級陸上特殊無線技士	令和 5 年 10 月 10 日(火)~10 月 11 日(水)、12 月 7 日(木)~8 日(金)、令和 6 年 1 月 10 日(水)~11 日(木)、2 月 6 日(火)~7 日(水)、3 月 18 日(月)~19 日(火)
第三級陸上特殊無線技士	令和 5 年 9 月 8 日(金)、9 月 21 日(木)、10 月 6 日(金)、10 月 27 日(金)、11 月 9 日(木)、11 月 21 日(火)、12 月 6 日(水)、12 月 22 日(金)、令和 6 年 1 月 11 日(木)、1 月 23 日(火)、2 月 5 日(月)、2 月 19 日(月)、2 月 27 日(火)、3 月 22 日(金)

注:各支部の実施日程は、当協会のホームページに掲載しています。

**本 部**

〒104-0053  
東京都中央区晴海 3-3-3  
TEL 03-3533-6022(国家試験関係)  
03-3533-6027(養成課程関係)  
FAX 03-3533-6824  
<https://www.nichimu.or.jp/>

**問 い 合 わ せ 先**

支 部 (TEL)	
北海道 011-271-6060	東 北 022-265-0575
信 越 026-234-1377	北 陸 076-222-7121
東 海 052-908-2589	近 畿 06-6942-0420
中 国 082-227-5253	四 国 089-946-4431
九 州 096-356-7902	沖 縄 098-840-1816



## デジタル無線機用 クラウド配車システム

# DB Cloud

オンライン地図は(C)Googleのものを使用しています。  
画像はイメージです。

## 自営無線機も、IP無線機も、タブレットも、 全部クラウドで。

今まではオンプレミスシステムでのみ使用可能  
だった自営無線機がクラウド上で使用できるよ  
うになります。

### 自営無線とCTIクラウドのいいとこどり

通信費不要で災害に強い自営無線機の強みと、いつ  
でも最新の地図を利用可能で使用する場所を選ばな  
いCTIクラウドシステムの強みを併せ持ちます。

### 従来のCTIクラウドよりパワーアップ

これまでの機能に加え、これまでは実現できなかった  
機能も新たに実装しパワーアップしました。

### 配車室の統合・共同配車化にも

別々の自営無線システムを、クラウド上で統合できる  
ようになります。  
それぞれで機能していた配車システムを1か所に集約  
して統合・共同配車化が可能になります。



既存の自営無線機利用で  
クラウドを低コスト導入



IP無線機などへの  
段階的な移行が可能



クラウド利用での  
柔軟な運用が可能



## 新潟通信機株式会社

(電気通信事業法 代理店届出番号：第D1903420号)

〒950-0850 新潟市中央区上所中3-14-8  
☎025-282-1800(大代表) FAX:025-282-1845

Website/Twitter

<https://www.niigata-t.co.jp/>  
Twitter:@niigata\_ntk

Office

札幌/北東北/仙台/千葉/東京/静岡/名古屋/新潟/  
長岡/長野/金沢/京都/大阪/広島/四国/福岡

■製品の情報は2022年4月現在のものです。  
■製品改良のため、仕様および外観は予告なく変更する事があります。



配車にまつわる様々なサービスで**貴社の経営をバックアップ**いたします！



向かう先は  
**コストダウン** ↓

配車システムのことなら、すべておまかせください！



車載機のタブレット化で**導入コストをダウン**！



タブレット単体モデル

※画像はイメージです。

**DiDi**  
ドライバーアプリ  
との連携を開始



初期費用なし！低ランニングコストで  
新規や買い換えが手軽に！



オンライン地図を採用！  
最新地図を自動アップデート



メーターと連動！  
シンプルで簡単操作を実現



配車室とも双方向通話！  
円滑なコミュニケーション

端末初期費用 **0円**

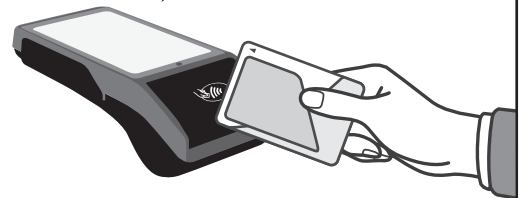
多彩な決済サービスの取扱

マルチ決済端末

**PT-750**

- ☑ あらゆる決済に対応した  
オールインワンモデル
- ☑ タクシーメーターとの料金連動
- ☑ ハンディ端末としての利用も可能

クレジットカード  
電子マネー  
QRコード決済対応！



LINEで手軽にタクシー手配！

LINE

LINE版

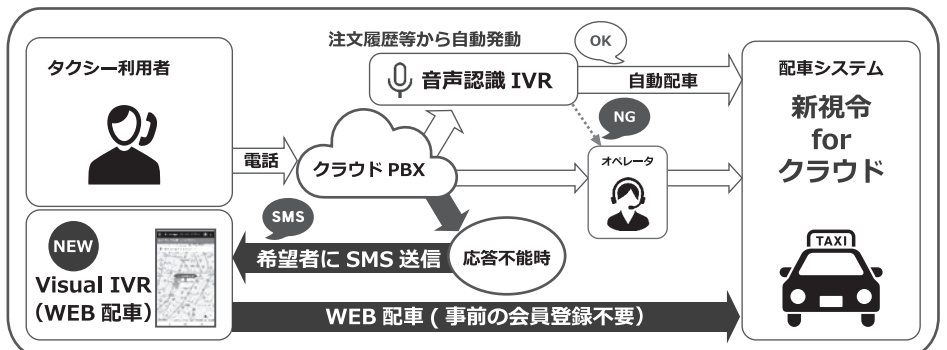
タクシー配車アプリ

ネット  
決済可能！



オペレーター不足の解消、電話対応、配車業務の効率化に！

クラウドPBX・Visual IVR 機能



お見積・実機デモは無料！

お問い合わせはこちら

モバイルクリエイイト株式会社

本社営業部 TEL.097-576-8080

E-mail ml-eigy01@mcinc.jp

本社所在地  
〒870-0823 大分県大分市東大道2丁目5番60号  
<http://www.mcinc.jp>

東京営業所 TEL.03-6277-0540

福岡営業所 TEL.092-433-3669



creation for human flow

# SYSTEM ORIGIN



## あなたと私のホットライン

# ゆびタク for LINE

タクシー専門だからできた  
全国 1000 社以上  
の導入実績!

### サポート体制

- セミオーダー方式
- 24時間365日のサポート受付対応
- リモートメンテナンスの実現
- 定額制によるソフト変更対応

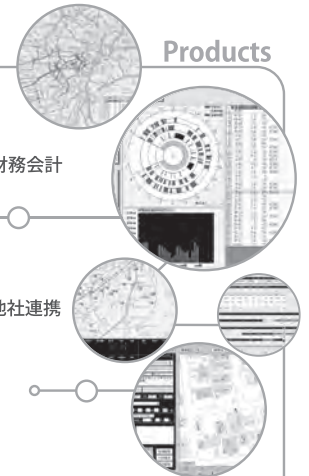
### SYSTEM ORIGIN SUPER TAXI SYSTEM スーパータクシーシステム

### タクコン SYSTEM ORIGIN SUPER TAXI SYSTEM タクシー総合管理システム

### テレハイAVM SYSTEM ORIGIN SUPER TAXI SYSTEM タクシー配車管理システム

- 運行管理
- 給与計算
- 財務会計
- 未収管理
- 事故管理

- 顧客管理
- 最適配車
- 他社連携
- 注文支援
- 車載端末



本社			
●静岡	〒424-0809	静岡県静岡市清水区天神 1-3-12	代表：TEL 054-361-0210 FAX 054-366-0996 サポートセンター：TEL 054-366-0990 FAX 054-371-0543
東日本カンパニー			
●札幌	〒060-0807	北海道札幌市北区北7条西 2-6 37 山京ビル 6 階	TEL 011-717-1130 FAX 054-366-0996
●仙台	〒983-0852	宮城県仙台市宮城野区榴岡 4-5-24 第一パークビル 8 階	TEL 022-353-6692 FAX 022-353-6693
首都圏カンパニー			
●東京	〒110-0016	東京都台東区台東 3-16-5 ミハマビル 2 階	TEL 03-3834-8352 FAX 03-3834-8353
中日本カンパニー			
●長野	〒392-0016	長野県諏訪市豊田文出 346-2 リバーサイドオオバヤシ D110	TEL 0266-78-9170 FAX 054-366-0996
●金沢	〒920-0348	石川県金沢市松村 1-373 NEWS01 105	TEL 076-256-1836 FAX 054-366-0996
●静岡	〒424-0809	静岡県静岡市清水区天神 1-3-12	TEL 054-361-0210 FAX 054-366-0996
●名古屋	〒460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内 2-14-4 6 階	TEL 052-253-9266 FAX 054-366-0996
西日本カンパニー			
●大阪	〒532-0011	大阪府大阪市淀川区西中島 1-9-20 新中島ビル 7 階	TEL 06-6838-5850 FAX 06-6838-5860
●広島	〒732-0805	広島県広島市南区東荒神町 3-35 広島オフィスセンタービル 2 号館 5 階	TEL 082-568-6344 FAX 054-366-0996
●福岡	〒812-0011	福岡県福岡市博多区博多駅前 3-19-14 ビーエスビル博多 5 階	TEL 092-436-7117 FAX 092-436-7385



シェア第 1 位  
導入実績・全国約 1000 社以上

[www.system-origin.jp](http://www.system-origin.jp)



creation for human flow

## 株式会社システムオリジン

タクシー事業者様専用「最適車両配置誘導システム」

SmartWave  
for Taxi



ホークアイ

独自の効果的手法※で経営課題を本気で解決します!

※特許取得

業界最高水準のIP無線システムをオールインワン! アンドロイド端末で集約。  
1台から運用可能なサブスクリプションに対応!!



車載型IP無線機  
SZ-1500

- 高秘匿性・高セキュリティ
- 全国対応・広い通信エリア



Androidナビ  
TS-V003

- Android OS採用で高い拡張性
- 業務仕様で高い位置精度と堅牢性

本システム導入で  
こんな効果が期待できます

優秀な乗務員増大&即戦力

事業者様収入を最大化

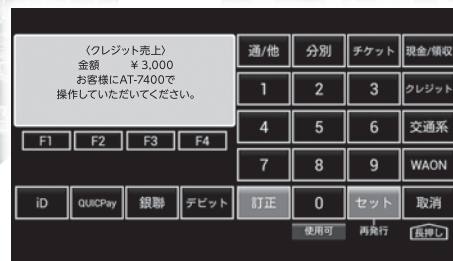
お客様満足度の向上

最適車両配置誘導アプリ  
ホークアイ



- 曜日や時間帯の需要模様から「事業者様の  
営収が最大になる」ように各車両を自動誘導
- 各車両には走行コースを表示します
- スマホアプリの指名率も格段にアップします

決済運用アプリ



- 各種クレジット・交通系IC対応
- タッチパネルで簡単操作

タクシー無線・配車システムのことならSmartWaveへお任せください。全国で対応可能です。

トム通信工業株式会社 スマートウェーブ・テレコミュニケーションズ社

〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1244  
<https://www.tomcom-radiosys.jp/>

TEL 0120-106-325(東日本エリア)  
TEL 0120-776-661(西日本エリア)





# 第三級陸上特殊無線技士《三陸特》

## eラーニング 養成課程のご案内

- eラーニングですので、電子教材によって、インターネット環境とパソコンなどがあれば、いつでも、どこでも、ご自分のペースにあわせて、気軽に受講することができます。
- 修了試験は、コンピュータを使ったCBT方式です。全国の約300箇所にある会場からご都合に合わせて時間・場所を選び、受験できます。

### ■ 受講料（税込）：

一般コース 18歳超 18,000円 / 18歳以下 16,000円  
振興会会員コース 企業・団体等 16,000円 / 高等学校以下 14,000円

〈振興会会員（会費無料）〉

- \* 電波法令集、電波関係告示集、電波法関係審査基準の追録自動送付システムの契約申込をされているお客様
- \* 電子版電気通信法令集及び電子版国際電気通信条約無線通信規則《RR》を購入されているお客様（改訂時に継続してご購入いただけるお客様）
- \* 当会のeラーニング受験対策講座又は養成課程の継続利用団体様（法人、団体、学校、国の機関、地方自治体等）

### ■ お問い合わせ・お申し込み先：

☎ 03-3940-8909 URL <https://dsk.or.jp/3rkt/>

最新版 各級陸上特殊無線技士の受験参考図書発売中  
情報通信振興会のオンラインショップの  
ご利用をお待ちしております

<https://www.dsk.or.jp/eshop/>



一般財団法人  
情報通信振興会

〒170-8480 東京都豊島区駒込2-3-10

☎ 03-3940-3951 FAX 03-3940-4055